下川町まちづくり町民意向調査報告書

平成 30 年 3 月

下川町

目 次

Ι.	調査の概要	
	- : - : : : : : : : : : : : : : : : : :	
	. 調査の実施概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
3	. 本報告書にみるにあたって ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
4	. 回答者の属性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1)性別	
(2)年齢	
(;	3)職業	
(4	4)通勤地	
(!	5)家族構成	
((6)居住公区	
Ι.	調査の結果	
1	. 「町の豊かさ」に関する町民意識 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(1)下川町で豊かに暮らすための重要度と満足度	
(:	2) 自身のライフスタイルの満足度と重要度	
(;	3)現在の下川町での生活の「豊かさ」評価	
2	. 施策の重要度と満足度について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
(1)福祉・医療について	
(2)教育・文化・スポーツについて	
(;	3)生活環境・安全安心について	
(4	4)行政情報の提供について	
(!	5)全体を通して	
(6) 重要度と満足度からみたゾーニング分析	
3	. 定住・生活環境について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4	.7
(1)住み心地	
(:	2)今後の居住意向	
(;	3)住み続けたい理由(複数回答)	
(4	4)転居したい理由(複数回答)	
4	. 公区活動・社会活動への参加について ・・・・・・・・・・・・5	2
(1)参加状況	
(:	2)参加しない理由(複数回答)	
(;	3)社会活動や住民参加のまちづくりを進めるうえで必要と思うこと(複数回答)	
(4	4)公区活動や社会活動の中で協力して取り組めるもの(複数回答)	
5	. 行政情報について(複数回答) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	57
6	冬分野において重占的に取り組むべき施策について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 0

- (1)農業振興について
- (2)林業・林産業振興について
- (3)商工業振興について
- (4)環境未来都市の推進について(複数回答)

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、第6期下川町総合計画策定にあたり、町の豊かさの町民意識をはじめ、町の現状評価や町政に対する意向確認など、町民の意識構造の実態を把握し、今後のまちづくりを進めるための基礎資料とするために実施したものである。

2. 調査の実施概要

(1)調査対象	平成29年4月1日現在18歳以上で、平成29年9月1日時点で下川町に
	住民票がある人
(2)調査範囲	町内全域
(3)調査方法	郵送調査
(4)調査期間	平成29年10月~11月
(5)調査数(配布数)	2, 735票
(6)回収数/回収率	1,735票/63.4%

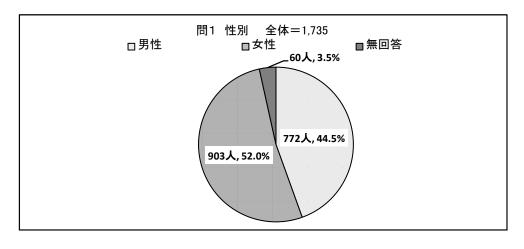
3. 本報告書をみるにあたって

- ① 比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出。従って、合計が必ずしも100%にならない場合がある。
- ② 集計・グラフ化の基礎となる実数は、"全体=○○○" として表記し、各比率は全体を 100% として算出した。
- ③ "(複数回答)"とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を選択してもよい問であり、従って、各回答の合計比率が100%を超える場合もある。
- ④ 図表中の記号の意味は、以下のとおりである。

4. 回答者の属性

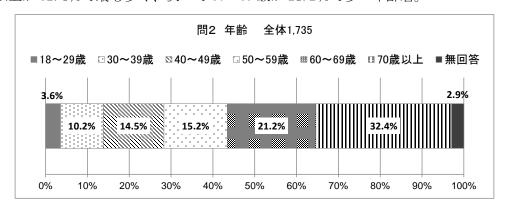
(1)性別

回答者として、男性が44.5% (772人)、女性が52.0% (903人)、無回答が3.5% (60人)。



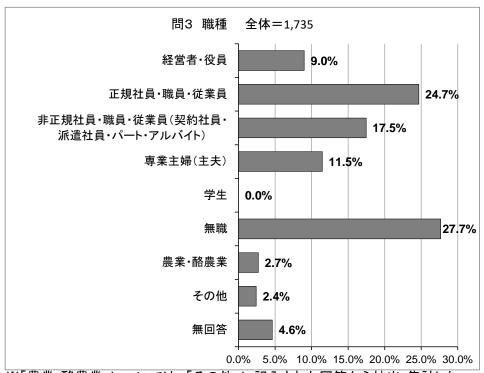
(2)年齢

70 歳以上が32.4%で最も多く、次いで60~69歳が21.2%で多い年齢層。



(3)職業

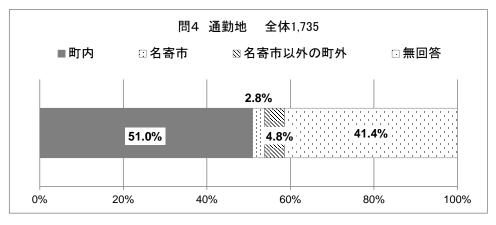
無職が27.7%で最も多く、次いで正規社員・職員・従業員が24.7%で多くなっている。



※「農業・酪農業」については、「その他」に記入された回答から抽出・集計した。

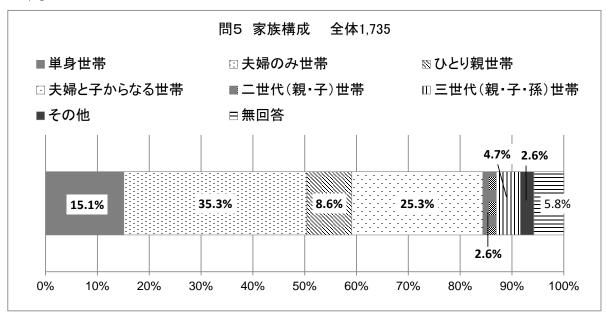
(4)通勤地

通勤地として町内が半数を超える51.0%、名寄市が2.8%、名寄市以外の町外は4.8%。



(5)家族構成

夫婦のみ世帯が 35.3%で最も多く、次いで 25.3%で夫婦と子からなる世帯が多い。単身世帯は 15.1%。



(6)居住公区

居住公区別の回答数と比率を、以下に整理する。

公区名	回答数	%
上名寄第1公区	22	1.3%
上名寄第2公区	22	1.3%
上名寄第3公区	76	4.4%
中成南公区	181	10.4%
中成北公区	155	8.9%
班渓公区	34	2.0%
北町公区	31	1.8%
元町公区	127	7.3%
幸町公区	97	5.6%
錦町公区	180	10.4%
共栄町公区	96	5.5%
旭町公区	191	11.0%
緑町公区	94	5.4%
末広町公区	209	12.0%
新町公区	40	2.3%
三和公区	43	2.5%
二の橋公区	21	1.2%
一の橋公区	44	2.5%
無回答	72	4.2%
合計	1,735	100.0%

Ⅱ. 調査の結果

1. 「町の豊かさ」に関する町民意識

- (1)下川町で豊かに暮らすための重要度と満足度
 - ◆下川町で豊かに暮らすための重要度と満足度の関係をみると、「3.自分や家族が健康であること」、「1. 家族や大切な人と時間を過ごせること」は重要度、満足度ともに高いが、「4. 医療環境が整っていること」は重要度が高いにも関わらず、不満度が高くなっている。
 回答傾向全般に渡り、前回調査結果とほぼ同様の傾向になっている。
 - 下川町で豊かに暮らすための重要度(「とても重要」+「まあまあ重要」)をみると、「13. 森林 バイオマスを利用すること(48.6%)」、「21. 周りから注目されること(36.4%)」の2項目以外 は重要度が50%を超えている。

重要度が高い上位6項目を、以下に整理する。(前回調査結果もあわせて整理する)

今回調査結果(平成 29 年度)		前回調査結果(平成 26 年度)		
3.自分や家族が健康であること	90.8%	・自分や家族が健康であること	75.3%	
1.家族や大切な人と時間を過ごせること	87.2%	・医療環境が整っていること	72.6%	
16.ゆったり安心して暮らしていけること	85.1%	・家族や大切な人と時間を過ごせること	72.5%	
15.住まいが暖かく、快適なこと	84.8%	・住まいが暖かく快適なこと	70.9%	
4.医療環境が整っていること	84.6%	・ゆったり安心して暮らしていけること	69.9%	
17.生活や余暇を楽しむお金があること	81.4%	・下川町は良いまちだと感じること	68.6%	

○ 下川町で豊かに暮らすための満足度(「とても満足」+「まあまあ満足」)が高い上位 6 項目を、 以下に整理する。

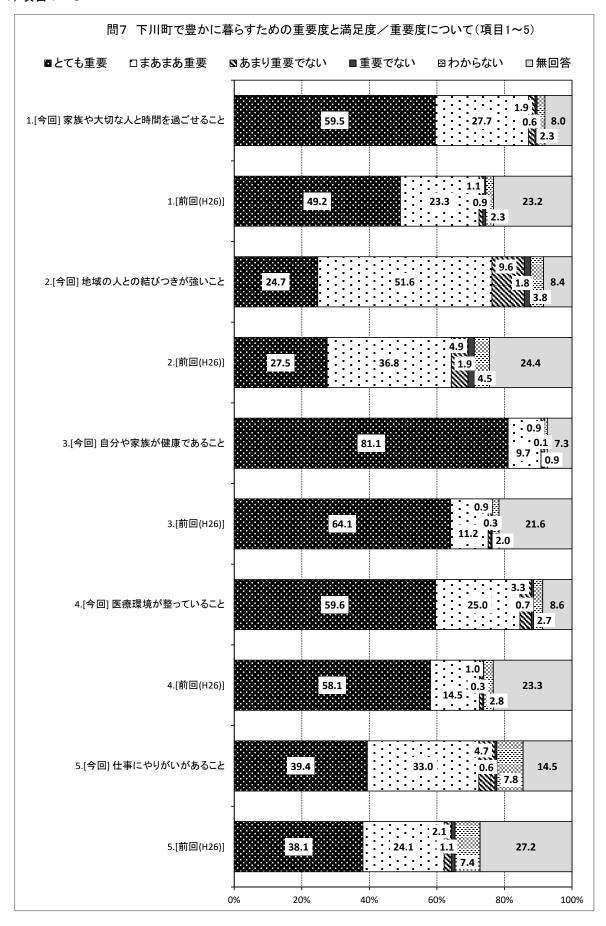
今回調査結果(平成 29 年度)		前回調査結果(平成 26 年度)		
1.家族や大切な人と時間を過ごせること	70.9%	・自分や家族が健康であること	67.2%	
3.自分や家族が健康であること	69.6%	・家族や大切な人と時間を過ごせること	66.5%	
2.地域の人との結びつきが強いこと	64.2%	・下川町は良いまちだと感じること	60.4%	
11.街並みの緑が豊かなこと	59.2%	・街並みの緑が豊かなこと	56.1%	
15.住まいが暖かく、快適なこと	57.8%	・地域の人との結びつきが強いこと	52.8%	
7. 子どもが健やかに育つこと	56.3%	・子どもが健やかに育つこと	52.7%	

○ 不満度(「あまり満足でない」+「満足でない」)が高い上位6項目は、以下の通りである。

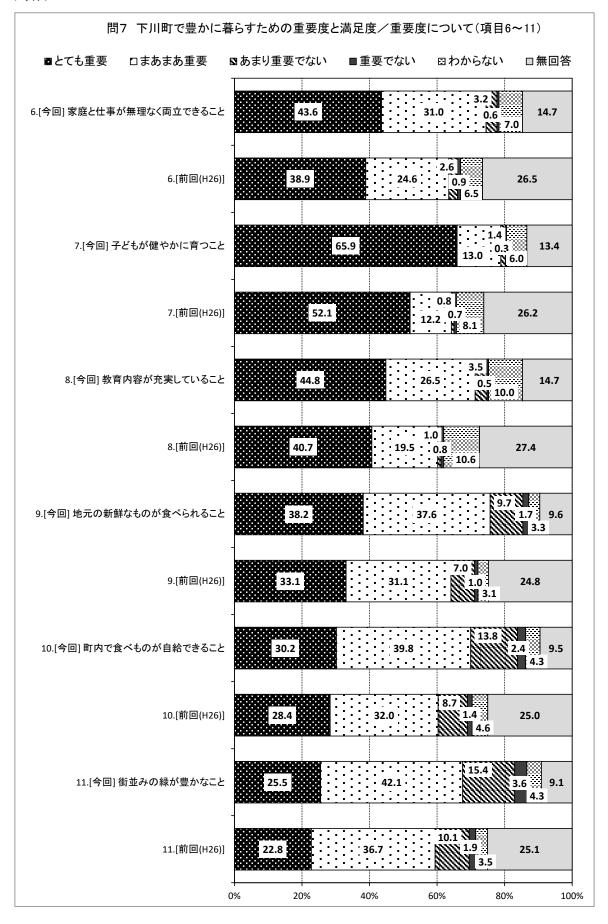
今回調査結果(平成 29 年度)	前回調査結果(平成 26 年度)		
17.生活や余暇を楽しむお金があること 41.4%		・娯楽の場があること	48.6%
4.医療環境が整っていること	39.4%	・医療環境が整っていること	43.4%
19.地域に活気があること	35.8%	・生活や余暇を楽しむお金があること	39.9%
10.町内で食べ物を自給できること	34.3%	・地域に活気があること	36.8%
16.ゆったり安心して暮らしていけること	30.9%	・町内でも食べ物を自給できること	31.0%
18.趣味があること	29.9%	・地元の新鮮なものが食べられること	26.4%

①あなたが感じる重要度

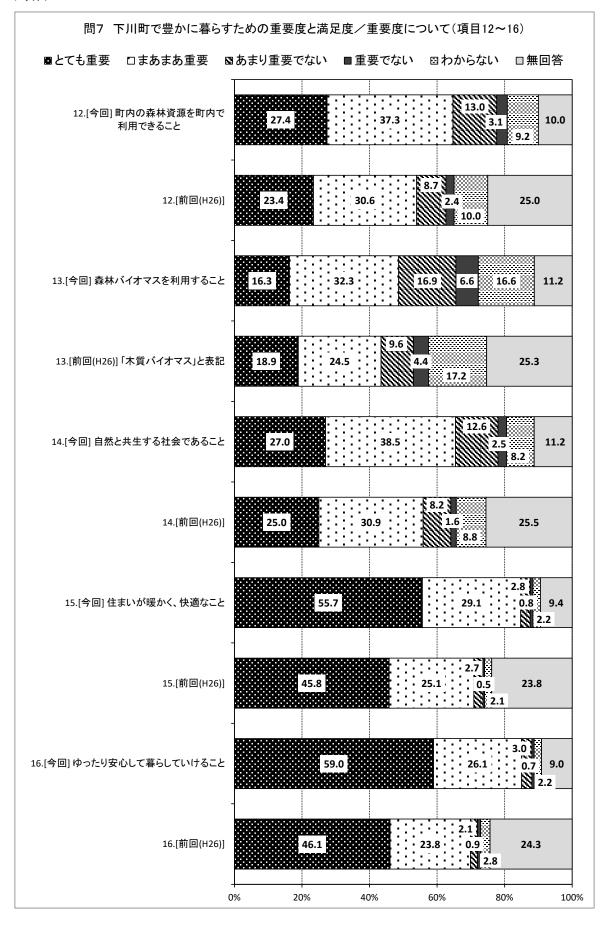
1)項目1~5



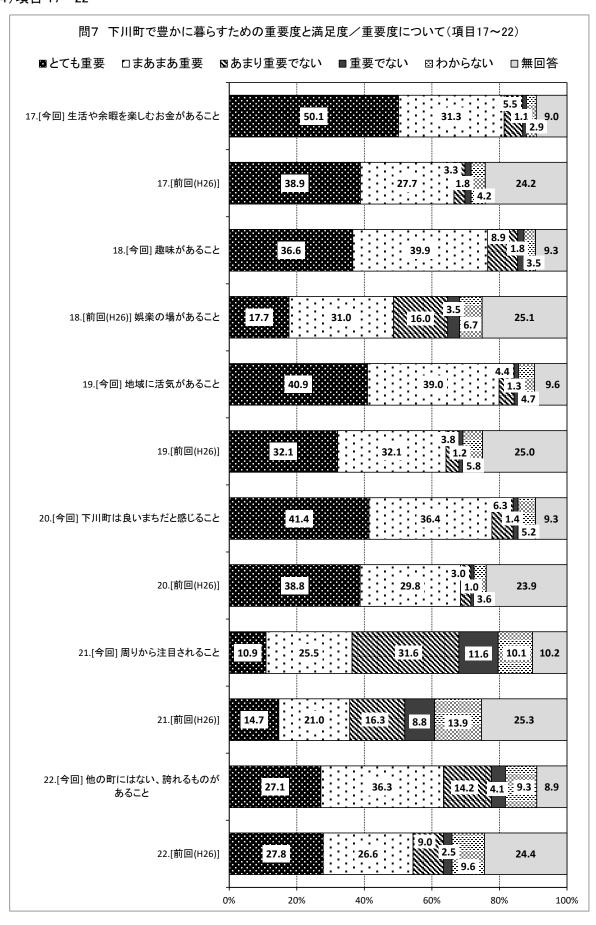
2)項目5~11



3)項目 12~16

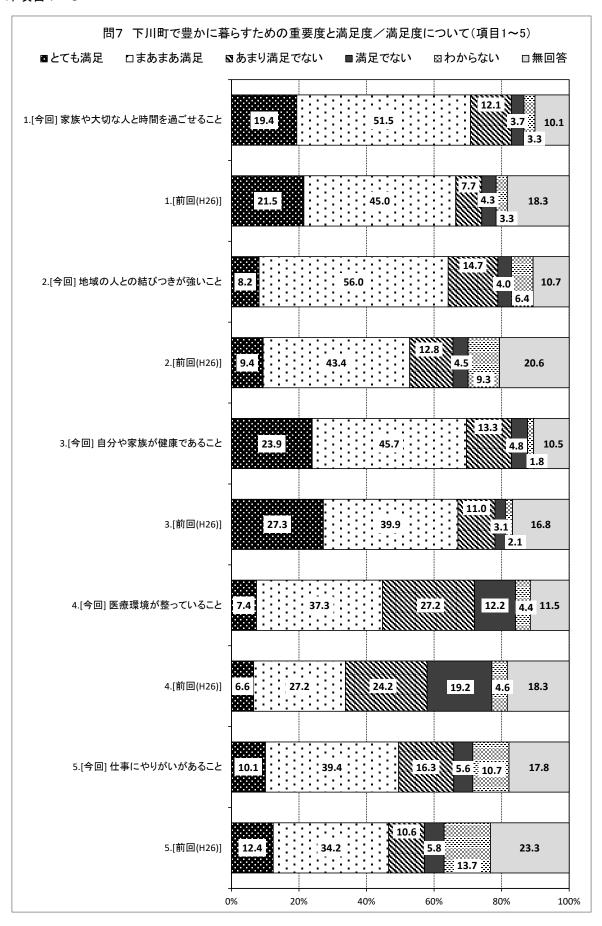


4)項目 17~22

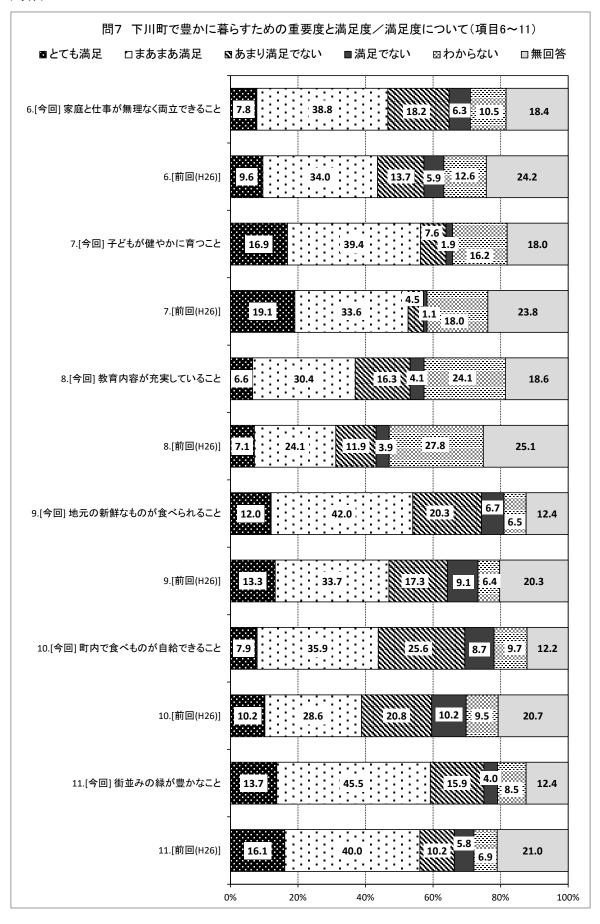


②あなたが感じる満足度

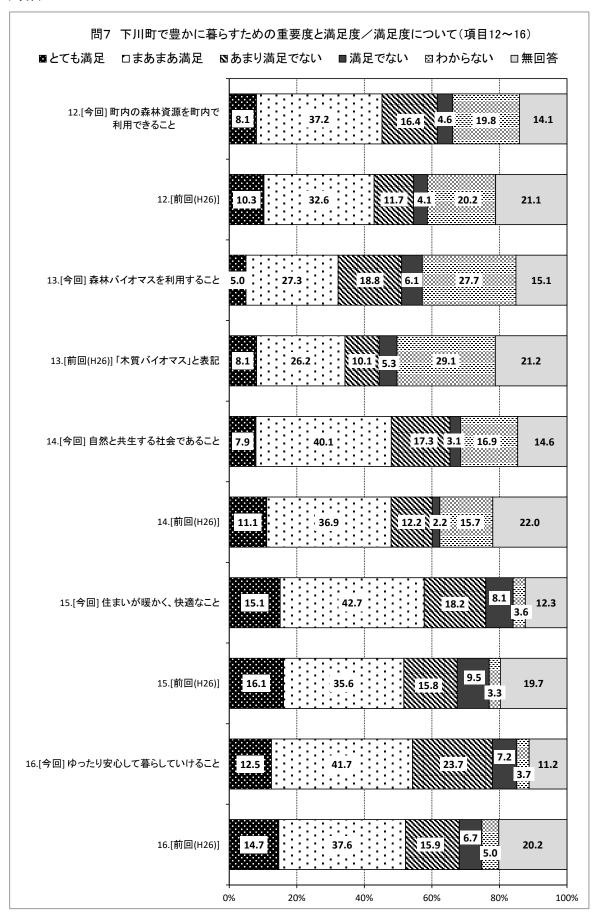
1)項目1~5



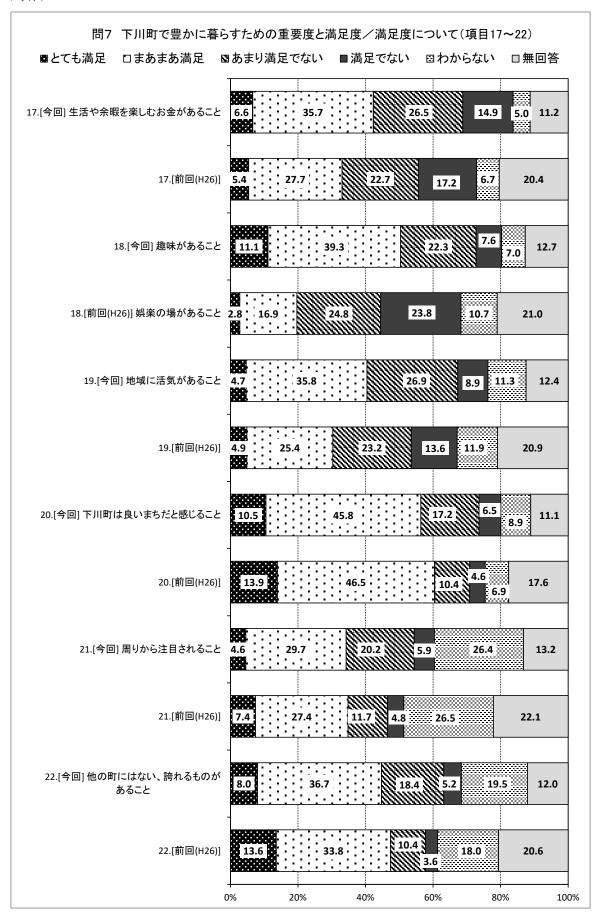
2)項目6~11



3)項目 12~16



4)項目 17~22



(2)自身のライフスタイルの満足度と重要度

- ◆自身のライフスタイルで自分にあてはまること及び重要度の第1位は「規則やルールを守ること」 となっている。
 - 回答傾向全般に渡り、前回調査結果とほぼ同様の傾向になっている。
- 自身のライフスタイルについて"あてはまる"(「とてもあてはまる」+「まあまああてはまる」) の回答が多い上位6項目を、以下に整理する。(前回調査結果もあわせて整理する)

今回調査結果(平成 29 年度)	前回調査結果(平成 26 年度)		
18.規則やルールを守っている	77.3%	・規則やルールを守ること	63.5%
17.義理や人情を大切にしている	67.4%	・下川町の人を大切に思うこと	57.4%
20.下川町の人を大切に思っている	66.1%	・義理や人情を大切にすること	57.2%
19.下川町での生活を楽しんでいる	60.2%	・下川町での生活を楽しむこと	53.9%
1.自分の好きなことや、生きがいがある	59.8%	・自分の好きなことや、生きがいがあること	53.3%
11.どうにかなるさ、とおおらかに考えている	54.2%	・みんなで協力しあうこと	53.2%

○ "あてはまらない"(「あまりあてはまらない」+「あてはまらない」)の回答が多い上位6項目は、以下の通りとなっている。

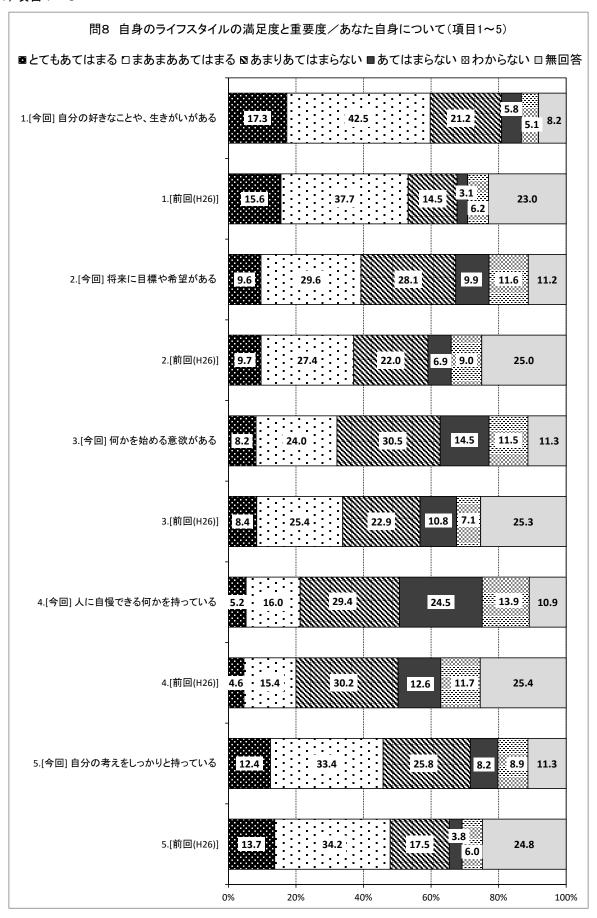
今回調査結果(平成 29 年度)	前回調査結果(平成 26 年度)			
14. みんなを引っ張って物事を進めている 59.8%		・みんなを引っ張って物事を進めること	49.9%	
4.人に自慢できる何かを持っている	53.9%	・人に自慢できる何かを持つこと	42.8%	
6.人には負けられないという意気込みを持っ		・人には負けられないという意気込みを持つ	持つ 38.0%	
ている		こと		
3.何かを始める意欲がある	45.0%	・何かを始める意欲があること	33.7%	
10.人の面倒を楽しくみている	43.8%	・人の面倒を楽しくみること	31.4%	
2.将来に目標や希望がある	38.0%	・将来に目標や希望があること	28.9%	

○ 自身のライフスタイルの重要度(「とても重要」+「まあまあ重要」)が高い上位6項目は、以下の通りとなっている。

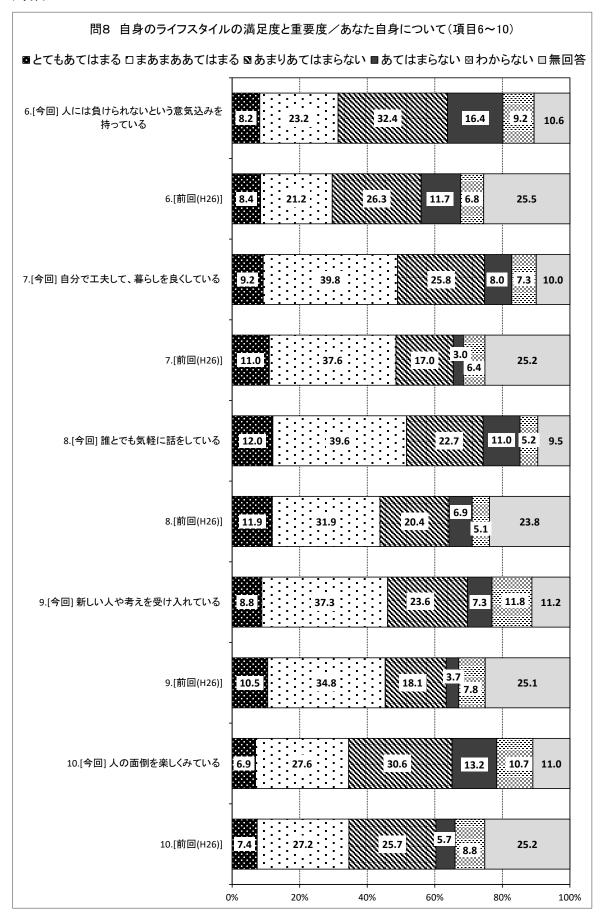
今回調査結果(平成 29 年度)	前回調査結果(平成 26 年度)		
18. 規則やルールを守っている	75.0%	・規則やルールを守ること	66.9%
1. 自分の好きなことや、生きがいがある	73.1%	・自分の好きなことや、生きがいがあること	65.5%
17. 義理や人情を大切にしている	68.3%	・義理や人情を大切にすること	63.4%
20. 下川町の人を大切に思っている	65.9%	・みんなで協力しあうこと	63.2%
19.下川町での生活を楽しんでいる	64.7%	・自分の考えをしっかりと持つこと	62.1%
12.ゆったりと日々を生きている	63.3%	・諦めずに、コツコツと物事を続けること	62.1%

①あなた自身について

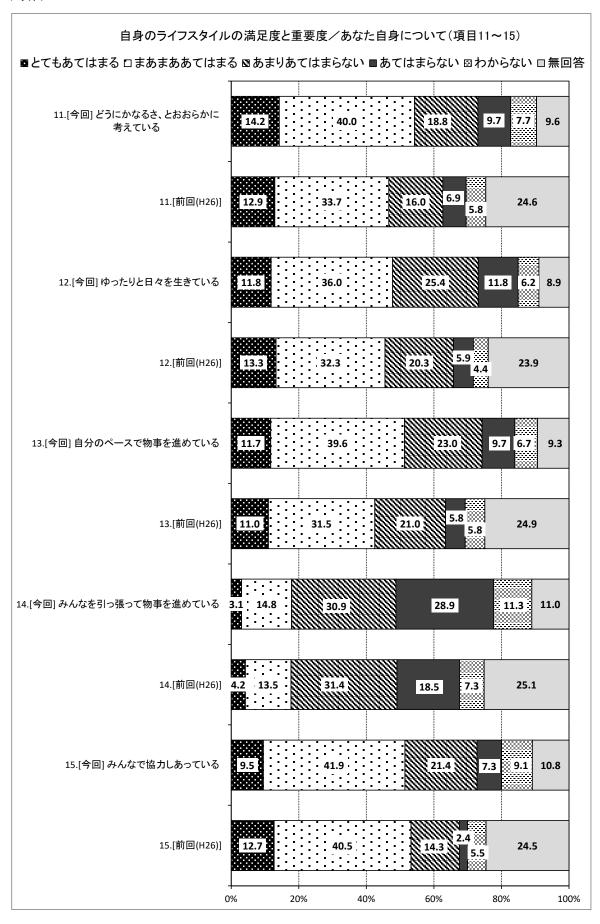
1)項目1~5



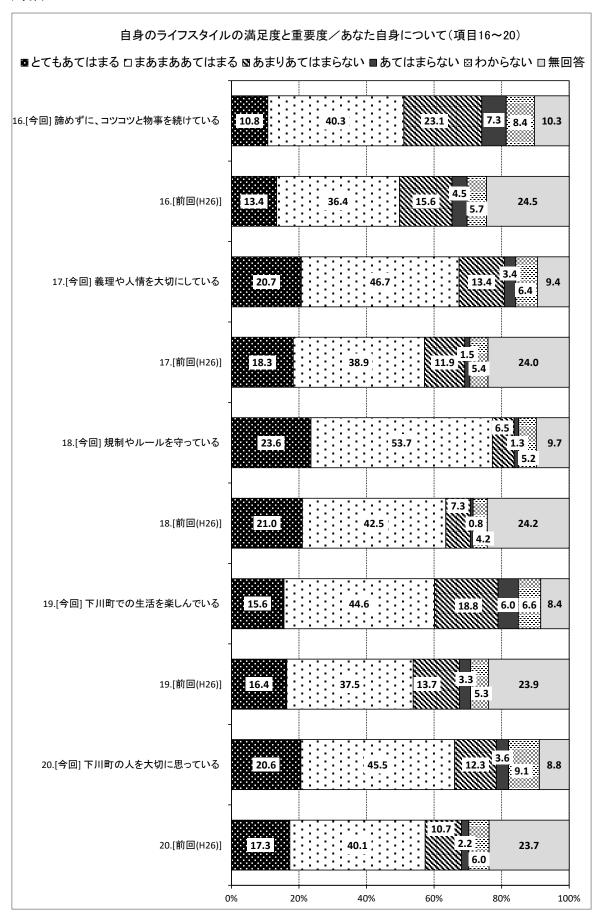
2)項目6~10



3)項目 11~15

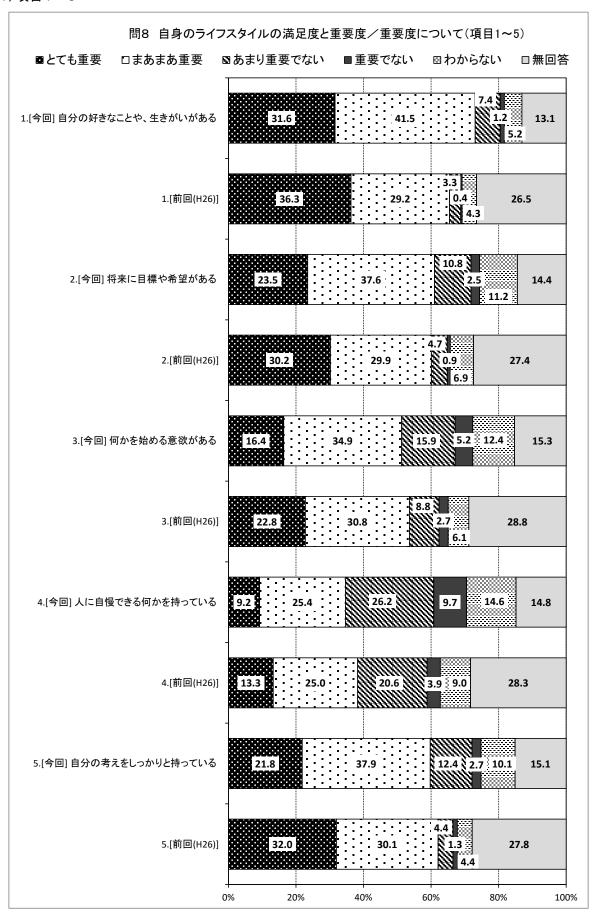


4)項目 16~20

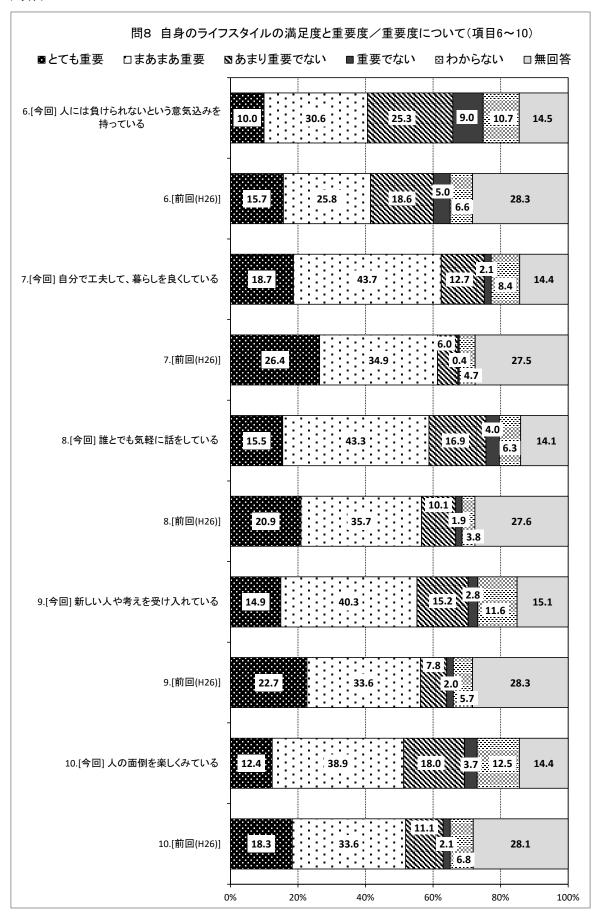


②あなたが感じる重要度

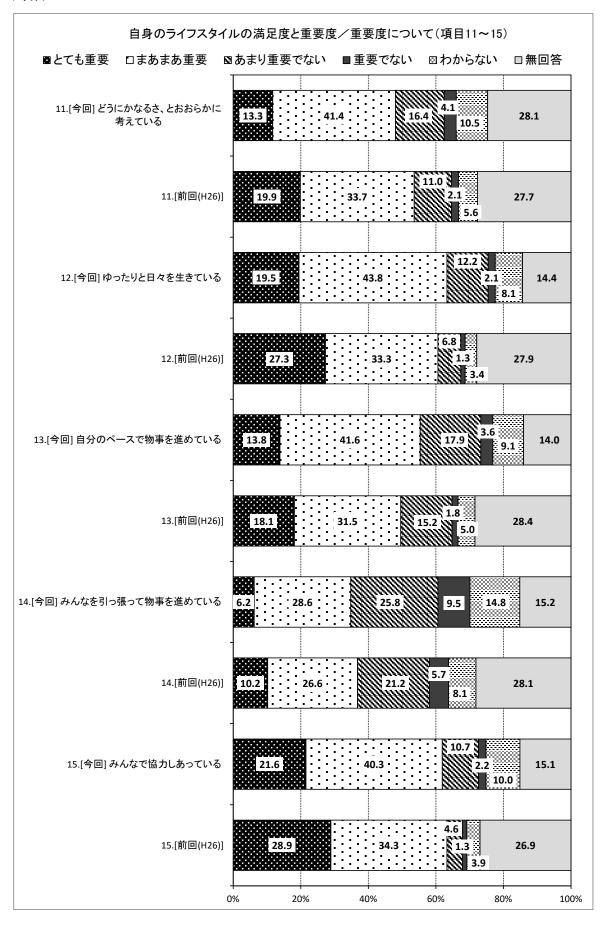
1)項目1~5



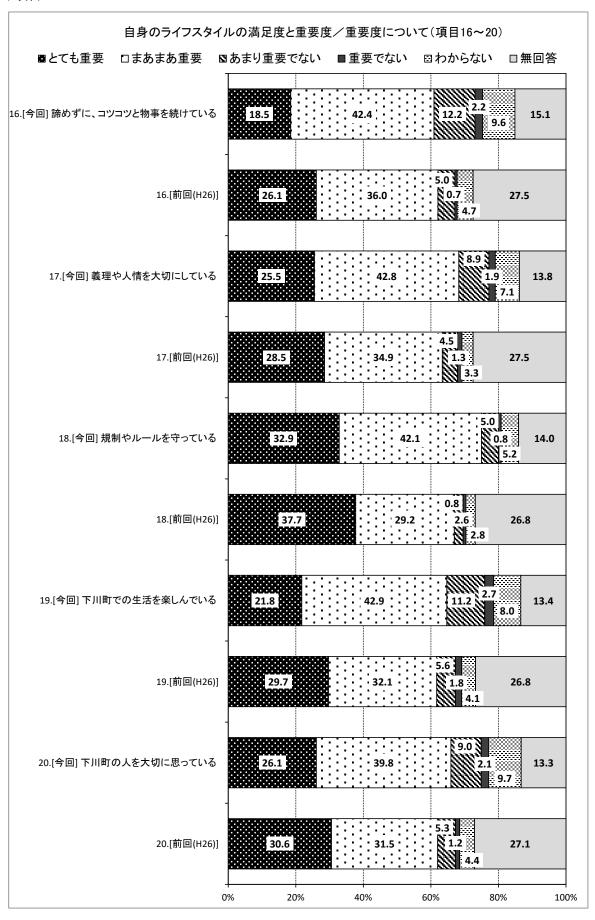
2)項目6~10



3)項目11~15



4)項目 16~20



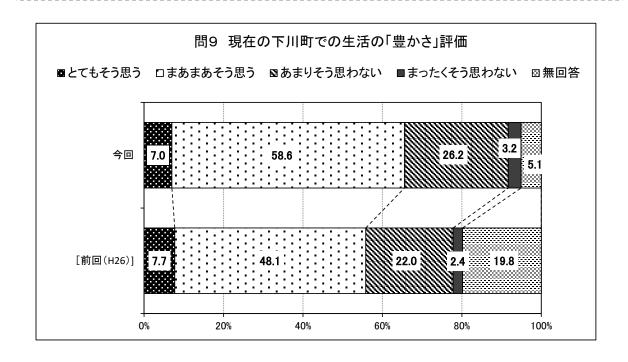
(3)現在の下川町での生活の「豊かさ」評価

◆「豊かさ」評価としては、「とてもそう思う」は7.0%、「まあまあそう思う」は58.6%。この2つを合わせた「豊か」だと思う人は65.6%となる。

一方、「あまりそう思わない(26.2%)」と「まったくそう思わない(3.2%)」を合わせた「豊か」だと思わないは29.4%となっている。

前回との比較では、無回答が前回よりも大幅に少なくなり(19.8%→5.1%)、「まあまあそう思う」が 10 ポイント高くなった。「豊か」だと思わないについては 24.4%が 29.4%となった。

年齢別では、70歳以上で「豊か」だと思う人が70%強を占める一方、50~69歳で「豊か」とは思わないが36~39%と比較的多くなっている。



_	•	•
1	U/A	

	合計	とても そう思う	まあまあ そう思う	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答
【全体】	1,735	7.0	58.6	26.2	3.2	5.1
【年齢】	•		•			
18~29歳	62	4.8	54.8	Δ 32.3	4.8	3.2
30~39歳	177	5.1	Δ 63.8	23.7	5.6	1.7
40~49歳	252	6.0	61.9	26.6	3.6	2.0
50~59歳	263	6.8	▼ 51.7	△ 35.4	3.8	2.3
60~69歳	367	4.4	56.4	Δ 33.2	2.5	3.5
70歳以上	563	10.1	62.0	▼ 18.3	2.3	7.3

2. 施策の重要度と満足度について

(1)福祉・医療について

①重要度

◆重要度(「重要」+「少し重要」)の回答として80%を超えるものは、以下の通りである。

8. 安心して医療を受けることができる環境: 86.9%

• 1. 高齢者福祉サービスの提供: 83.2%

• 9. 健康づくりに取り組みやすい環境: 82.0%

・4. 障がい者が住み慣れた地域で生活するための環境や支援策:81.0%

• 3. 地域での助け合いによる高齢者が住みやすい環境: 80.8%

前回との比較では、細かく数値を見ると多少の差異が出てくるが、大きく捉えた回答傾向全般としては前回調査結果とほぼ同様の傾向となっている。

②満足度

◆満足度(「満足」+「やや満足」)の回答として 40%を超えるものは、以下の通りである。

• 9. 健康づくりに取り組みやすい環境: 51.0%

1. 高齢者福祉サービスの提供: 45.2%

3. 地域での助け合いによる高齢者が住みやすい環境: 43.0%

8. 安心して医療を受けることができる環境: 42.8%

・4. 障がい者が住み慣れた地域で生活するための環境や支援策:41.3%

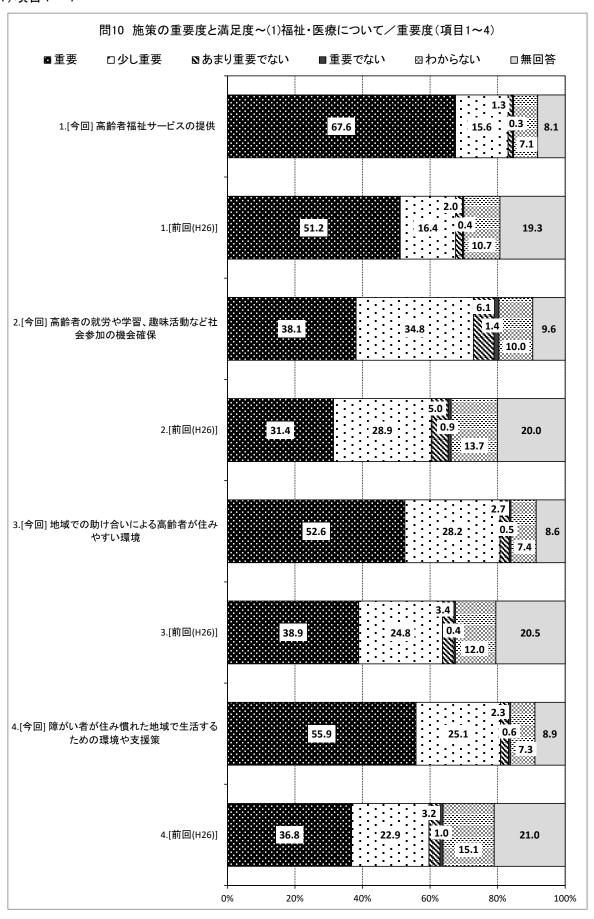
一方、「8. 安心して医療を受けることができる環境」については、不満度の回答も 33.0%と 比較的多くなっており、満足度、不満度の両方から評価を受けている。

満足度が低いものは、「7. 地域での助け合いによる安心して子育てをできる環境」の 29.2% となっている。

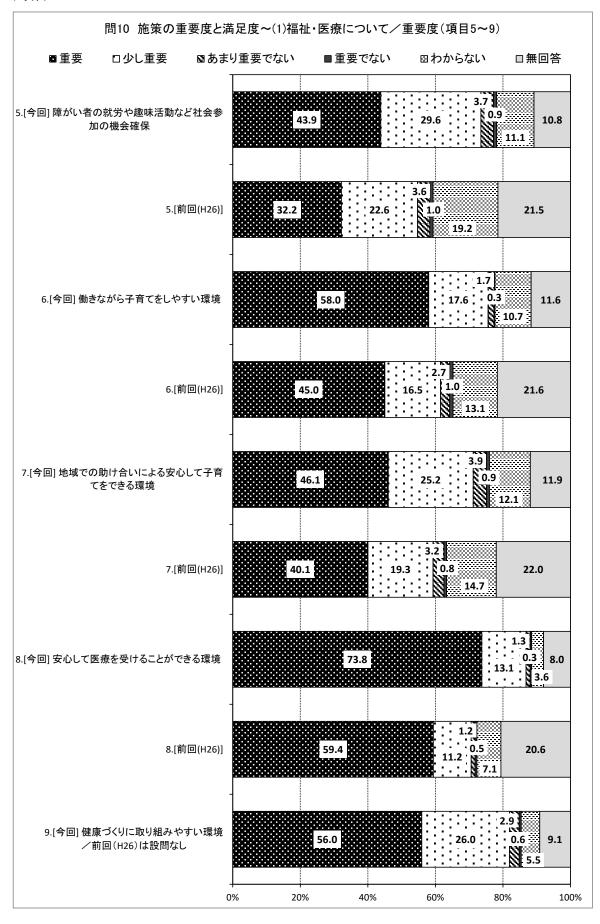
前回との比較では、細かく数値を見ると多少の差異が出てくるが、大きく捉えた回答傾向全般としては前回調査結果とほぼ同様の傾向となっている。

①重要度

1)項目1~4

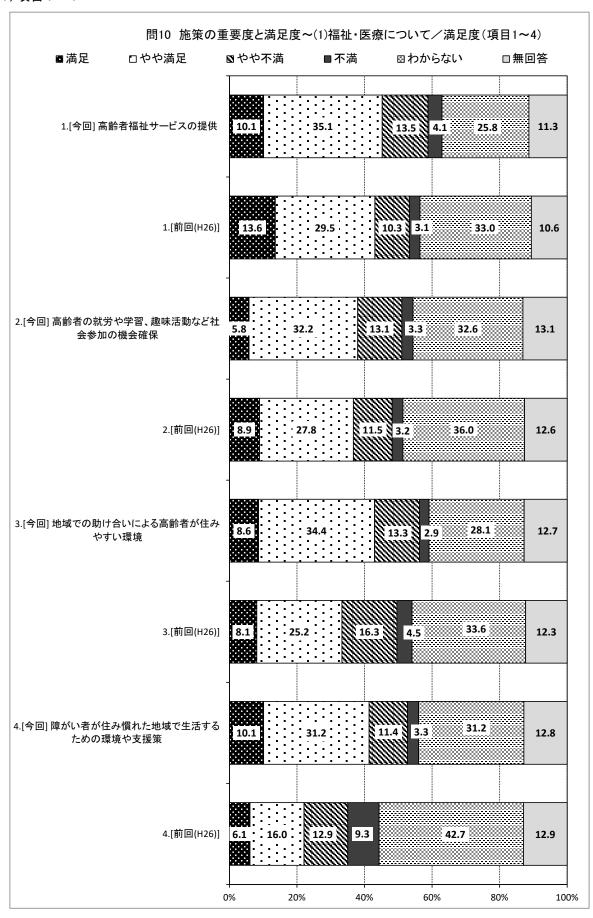


2)項目5~9

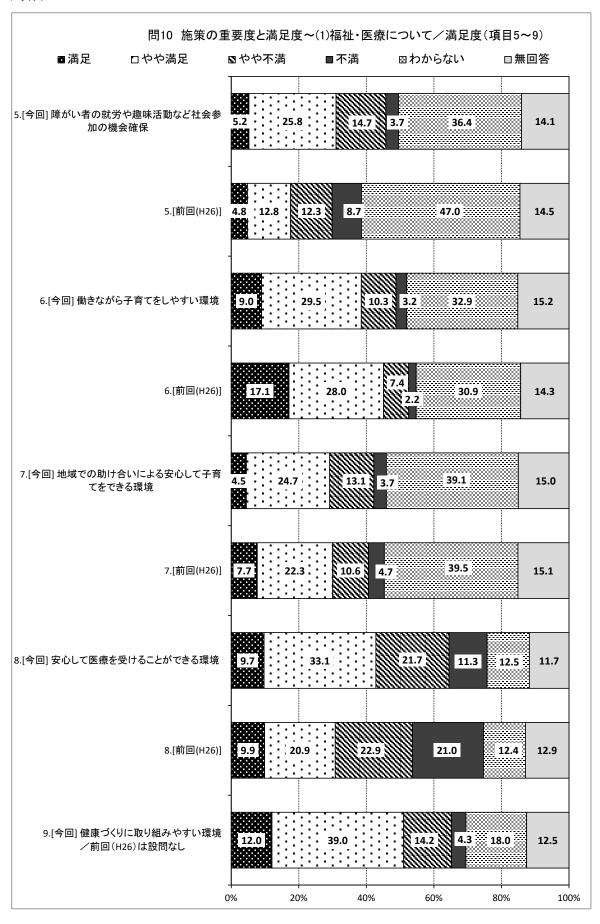


②満足度

1)項目1~4



2)項目5~9



(2)教育・文化・スポーツについて

①重要度

- ◆重要度(「重要」+「少し重要」)の回答として70%を超えるものは、以下の通りである。
 - •11. 子どもたちが安全で安心な楽しい学校生活を送ることができる環境:79.0%
 - 10. 子どもたちが確かな学力と体力を身につけることができること: 77.7%
 - 12. 子どもたちが学校外において、社会の変化に対応できる力を身につけるための様々な体験機会: 75.4%

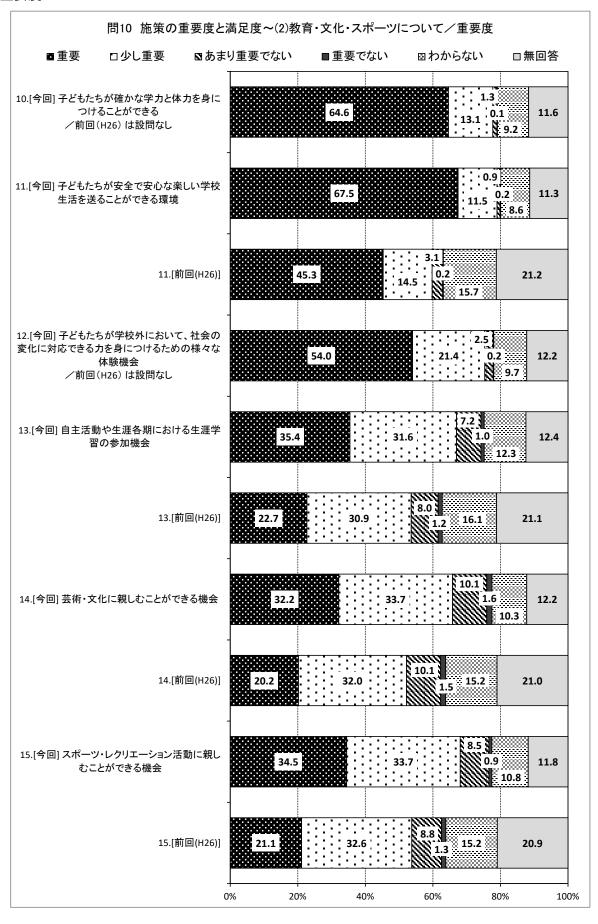
前回との比較では、細かく数値を見ると多少の差異が出てくるが、大きく捉えた回答傾向全般としては前回調査結果とほぼ同様の傾向となっている。

②満足度

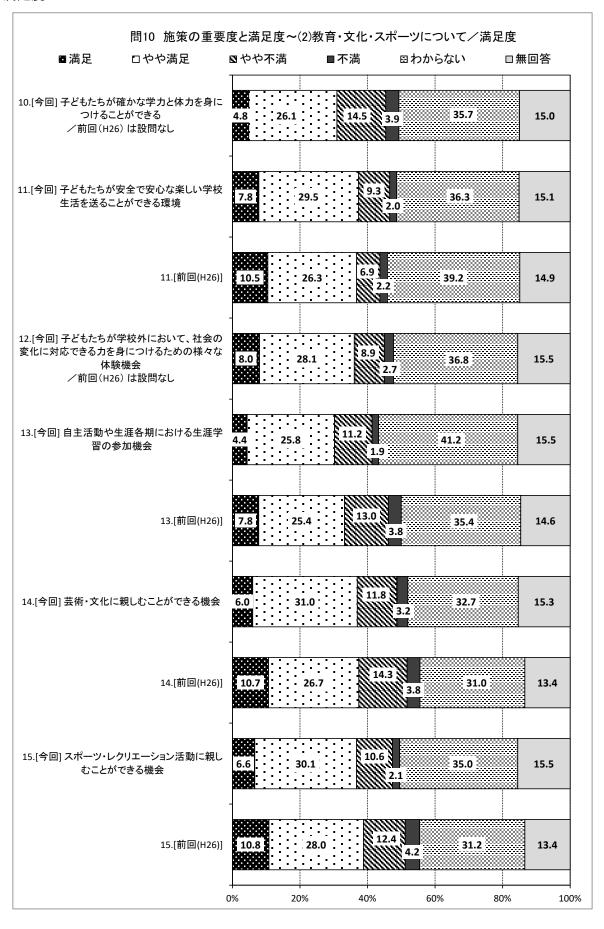
- ◆満足度(「満足」+「やや満足」)の回答として35%を超えるものは、以下の通りである。
 - 11. 子どもたちが安全で安心な楽しい学校生活を送ることができる環境: 37.3%
 - 14. 芸術・文化に親しむことができる機会: 37.0%
 - 15. スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる環境: 36.7%
 - 12. 子どもたちが学校外において、社会の変化に対応できる力を身につけるための様々な体験機会: 36.1%
 - 「11. 子どもたちが安全で安心な楽しい学校生活を送ることができる環境」と「12. 子どもたちが学校外において、社会の変化に対応できる力を身につけるための様々な体験機会」については、重要度で回答の多いものであると同時に、満足度も比較的高い傾向となっている。

前回との比較では、細かく数値を見ると多少の差異が出てくるが、大きく捉えた回答傾向全般としては前回調査結果とほぼ同様の傾向となっている。

①重要度



②満足度



(3)生活環境・安全安心について

①重要度

◆重要度(「重要」+「少し重要」)の回答として85%程度を超えるものは、以下の通りである。

• 26. 除排雪による道路・歩道の交通確保:

87.6%

・27. 安全な水道水の安定的供給:

87.2%

• 28. 公共下水道や合併処理浄化槽などにより良好な生活環境の確保: 84.9%

• 25. 消防、緊急救助体制:

84.3%

前回との比較では、重要度の数値がそれぞれの項目で今回調査結果の方が 10 ポイント程度高くなっているが、大きく捉えた回答傾向全般としては前回調査結果とほぼ同様の傾向となっている。

②満足度

◆満足度(「満足」+「やや満足」)の回答として55%を超えるものは、以下の通りである。

・27. 安全な水道水の安定的供給:

679%

• 28. 公共下水道や合併処理浄化槽などにより良好な生活環境の確保: 64.1%

• 18. ごみの分別収集の徹底:

57.5%

• 25. 消防、緊急救助体制:

55.5%

「18. ごみの分別収集の徹底」は満足度が 57.5%となっているが、重要度も 80%を超える 81.7%となっている。

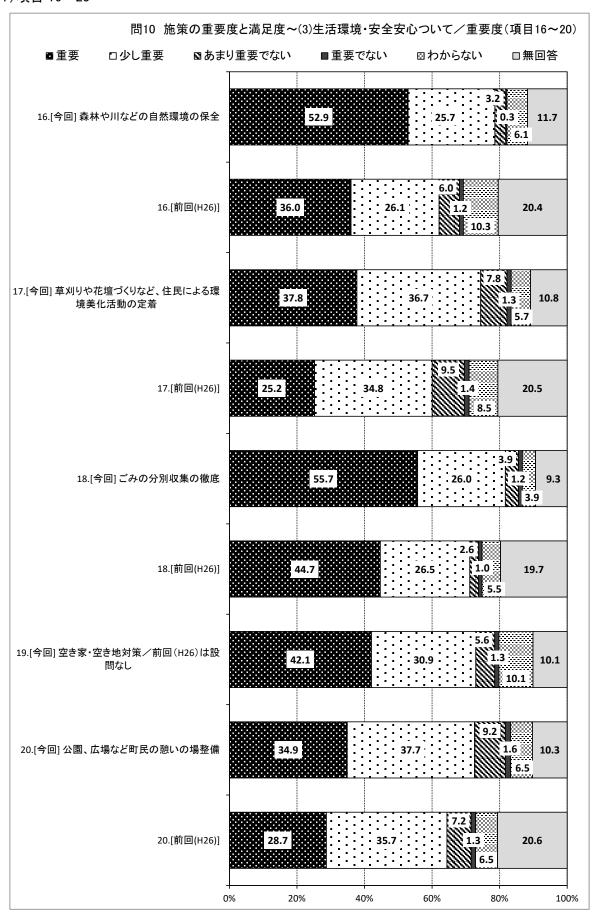
「26. 除排雪による道路・歩道の交通確保」は重要度で回答の多いものとなっているが、満足度は50%に至らない44.7%と厳しい評価となっている。

また、「19. 空き家・空き地対策」は満足度が22.0%にとどまり、満足度が低いものとなっている。

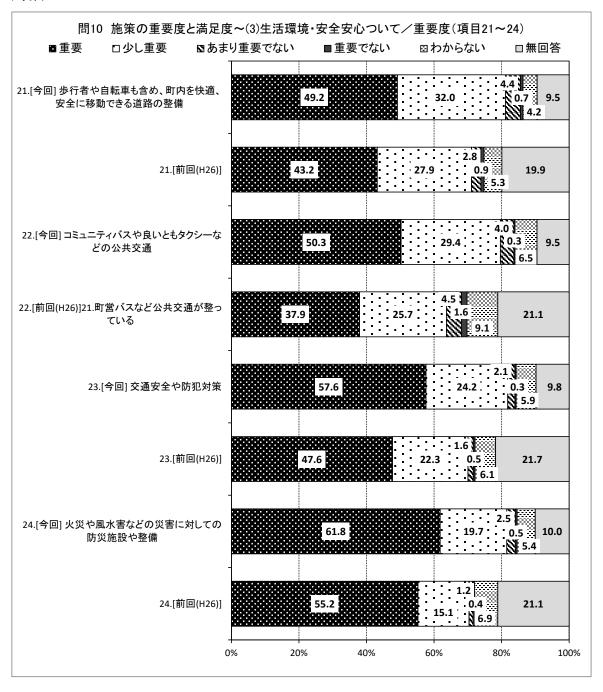
前回との比較では、細かく数値を見ると多少の差異が出てくるが、大きく捉えた回答傾向全般としては前回調査結果とほぼ同様の傾向となっている。

①重要度

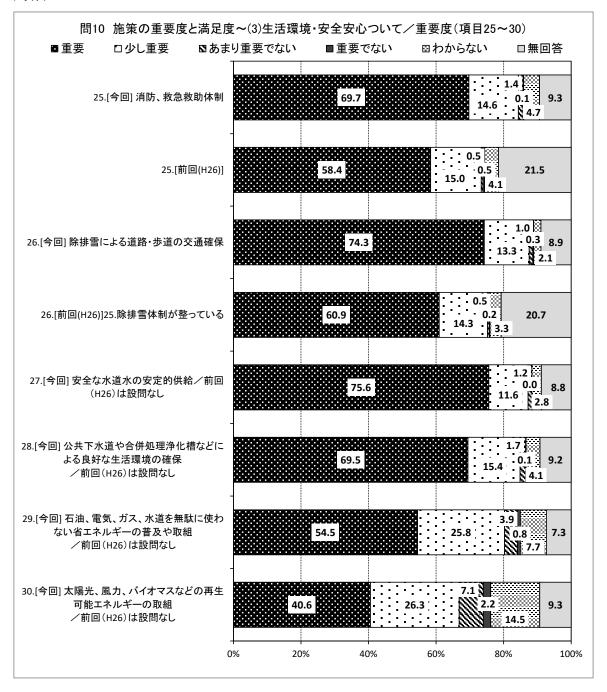
1)項目 16~23



2)項目 21~24

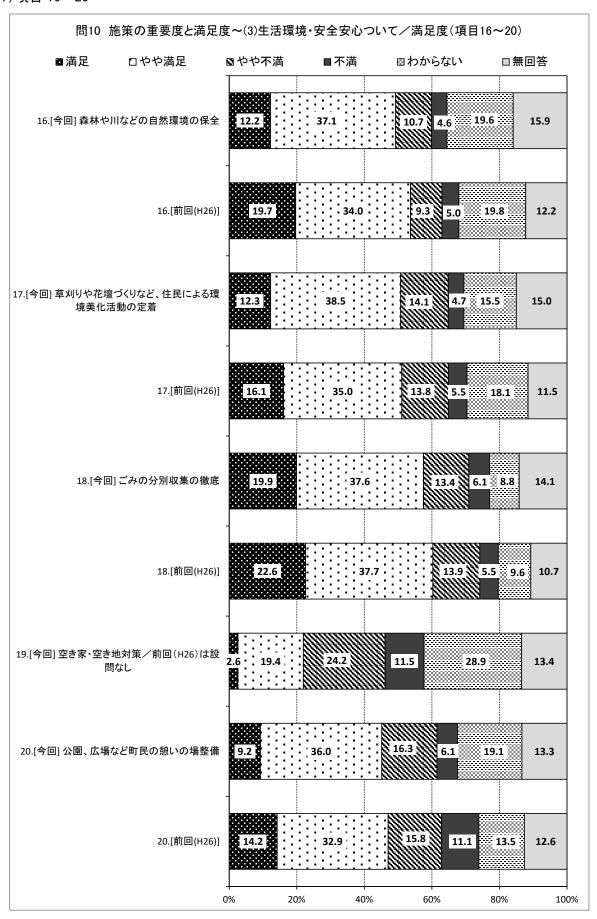


3)項目 25~30

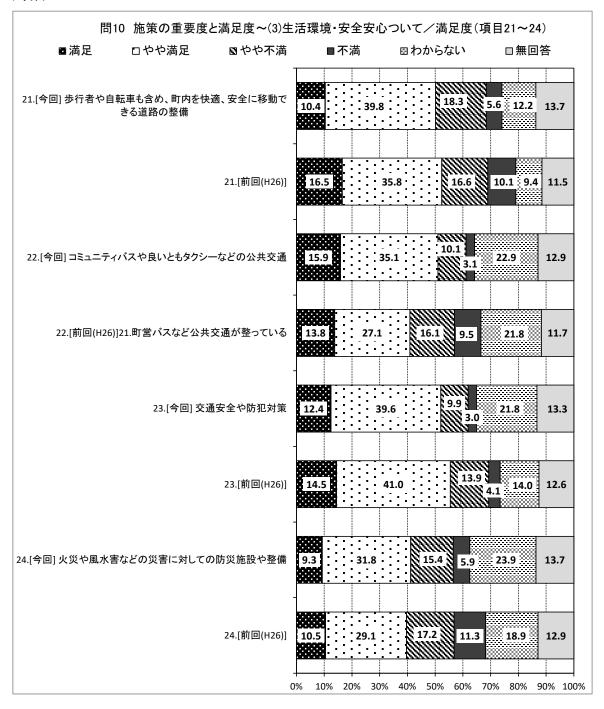


②満足度

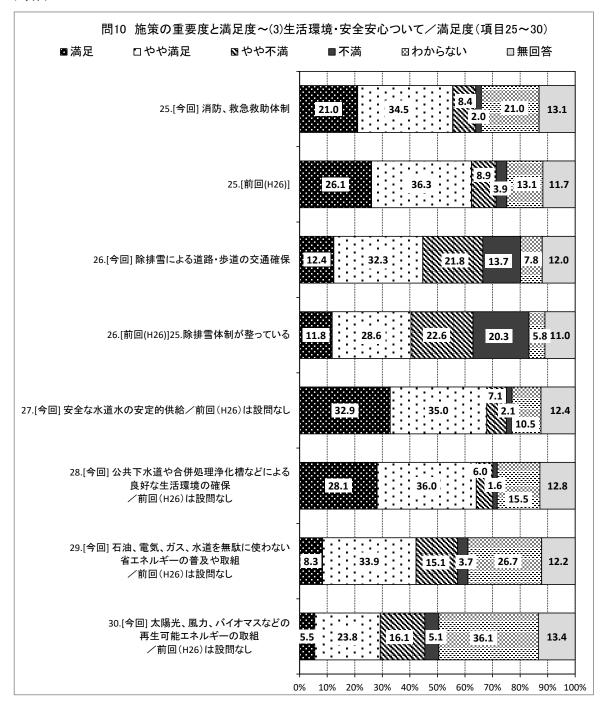
1)項目 16~20



2)項目 21~24



3)項目 25~30

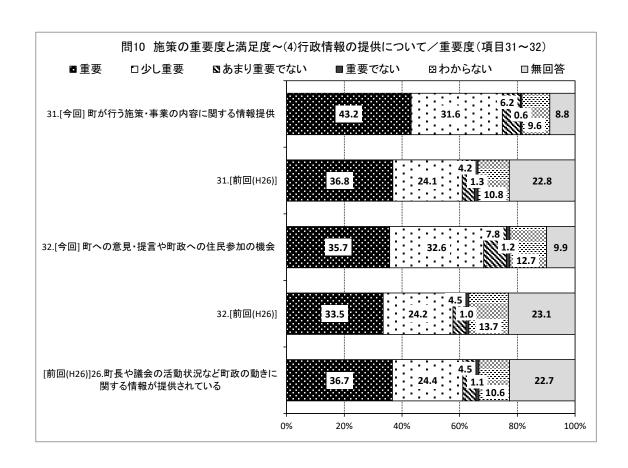


(4) 行政情報の提供について

①重要度

- ◆重要度(「重要」+「少し重要」)の回答は、以下の通りである。
 - ・31. 町が行う施策・事業の内容に関する情報提供:74.8%
 - 32. 町への意見・提言や町政への住民参加の機会: 68.3%

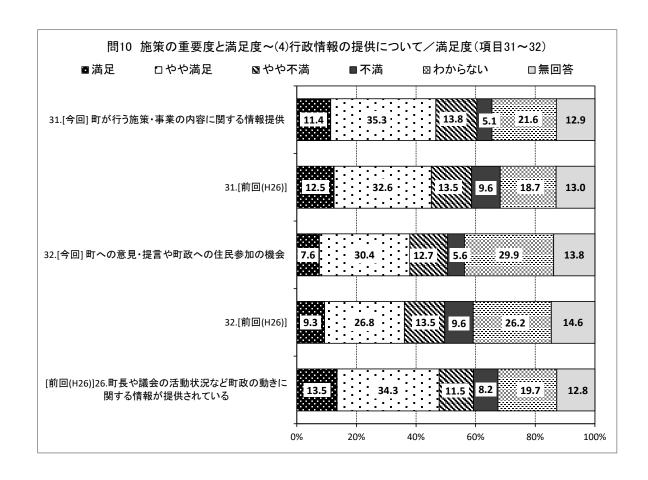
前回との比較では、細かく数値を見ると多少の差異が出てくるが、大きく捉えた回答傾向全般としては前回調査結果とほぼ同様の傾向となっている。



②満足度

- ◆満足度(「満足」+「やや満足」)の回答は、以下の通りである。
 - ・31. 町が行う施策・事業の内容に関する情報提供:46.7%
 - 32. 町への意見・提言や町政への住民参加の機会: 38.0%

前回との比較では、細かく数値を見ると多少の差異が出てくるが、大きく捉えた回答傾向全般としては前回調査結果とほぼ同様の傾向となっている。



(5)全体を通して

◆下川町のまちづくりに対する満足度と関心度を点数で評価した回答の平均値は、

・まちづくりの対する満足度:5.88・まちづくりに対する関心度:5.94

2つの回答はともに中間値5点を上回る数値となっている。 関心度が若干であるが満足度を上回る結果となっている。

設 問	回答の平均値
33.下川町のまちづくりに対するあなたの感じる満足度を点数で表すと何点ですか	5.88
※満足している 10 点、満足していないO点として回答	5.66
34.下川町のまちづくりに対する関心度を点数で表すと何点ですか	F 0.4
※関心がある 10 点、関心がないO点として回答	5.94

(6) 重要度と満足度からみたゾーニング分析

重要度と満足度の5段階評価の回答(選択)に対して、以下の値を付して、回答の平気値を求めた。

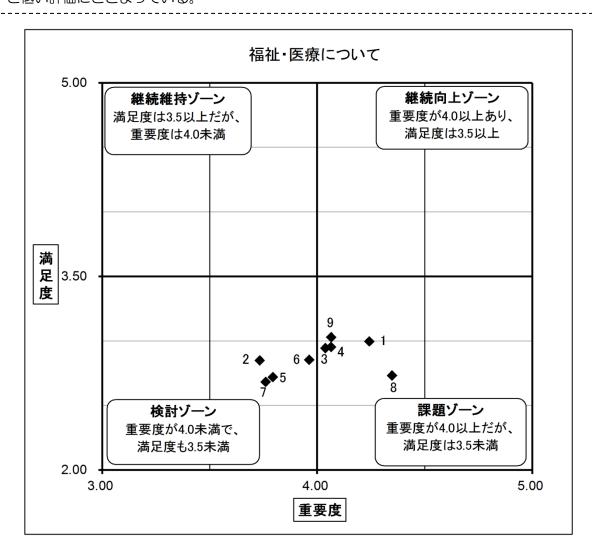
「重要」	「少し重要」	「わからない」	「あまり重要でない」	「重要でない」
「満足」	「やや満足」		「やや不満」	「不満」
5	4	3	2	1

求めた平均値から、以下の基準により各項目(設問)の整理を行った。

維持向上項目	重要度が 4.0 以上あり、満足度が	高い満足度を得ているが、住民ニーズが高いこ
(維持向上ゾーン)	3.5 以上の項目	とから、今後さらに充実させる施策
継続維持項目	満足度は 3.5 以上だが、重要度は	住民ニーズは高くないが、高い満足度を得てお
(継続維持ゾーン)	4.0 未満の項目	り、今後も継続して維持していけばよい施策
課題項目	重要度が 4.0 以上だが、満足度は	住民ニーズが高いにも関わらず、満足度が低い
(課題ゾーン)	3.5 未満の項目	ことから、改善の必要がある施策
検討項目	重要度は 4.0 未満で、満足度も 3.5	住民ニーズ、満足度ともに低く、検討・調整が必
(検討ゾーン)	未満の項目	要な施策

①福祉・医療について

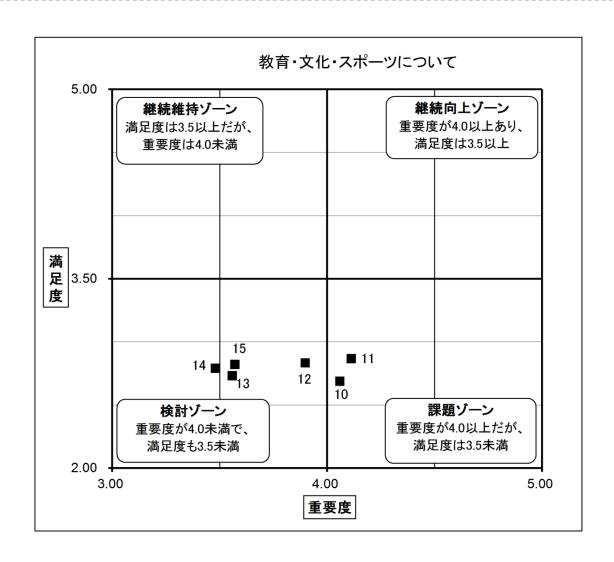
◆福祉・医療の9項目については、課題項目が5項目、検討項目が4項目となっている。 「8. 安心して医療を受けることができる環境」は、重要度は4.35と高いが、満足度は2.73 と低い評価にとどまっている。



- 1. 高齢者福祉サービスの提供
- 2. 高齢者の就労や学習、趣味活動など社会参加の機会確保
- 3. 地域での助け合いによる高齢者が住みやすい環境
- 4. 障がい者が住み慣れた地域で生活するための環境や支援策
- 5. 障がい者の就労や趣味活動など社会参加の機会確保
- 6. 働きながら子育てをしやすい環境
- 7. 地域での助け合いによる安心して子育てをできる環境
- 8. 安心して医療を受けることができる環境
- 9. 健康づくりに取り組みやすい環境

②教育・文化・スポーツについて

◆教育・文化・スポーツの6項目については、課題項目が2項目、検討項目が4項目となっている。 課題項目は、「「10. 子どもたちが確かな学力と体力を身につけることができる」と「11. 子ど もたちが安全で安心な楽しい学校生活を送ることができる環境」の2つであり、「10. 子どもた ちが確かな学力と体力を身につけることができる」については重要度が4.06と比較的高くなっ ているが、満足度は2.69と低い評価にとどまっている。



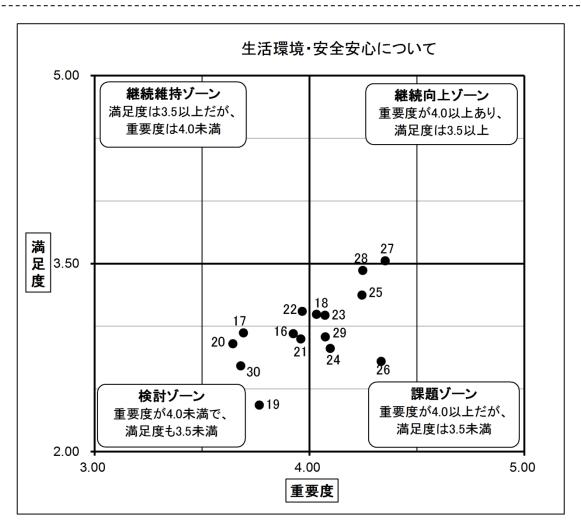
- 10. 子どもたちが確かな学力と体力を身につけることができる
- 11. 子どもたちが安全で安心な楽しい学校生活を送ることができる環境
- 12. 子どもたちが学校外において、社会の変化に対応できる力を身につけるための様々な体験機会
- 13. 自主活動や生涯各期における生涯学習の参加機会
- 14. 芸術・文化に親しむことができる機会
- 15. スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる機会

③生活環境・安全安心について

◆生活環境・安全安心の 15 項目については、継続向上項目が1 項目、課題項目が7 項目、検討項目が7項目となっている。

継続向上項目となっているのは「27. 安全な水道水の安定的供給」であり、重要度が 4.35、満足度が 3.52 となっている。

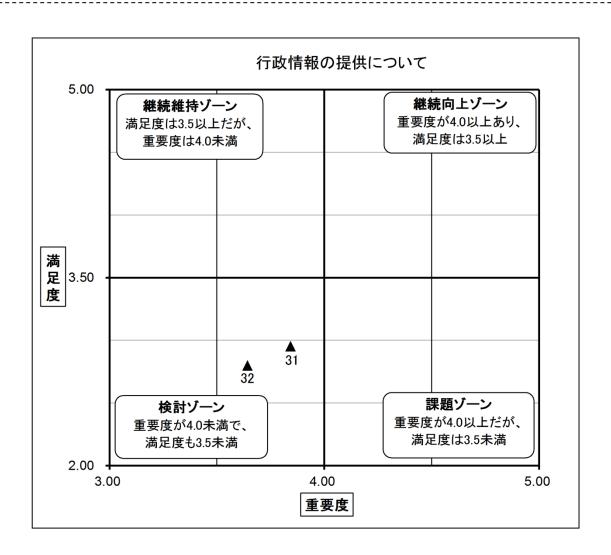
検討項目の中でも満足度が低い項目は、「19. 空き家・空き地対策」であり、満足度が 2.37、 重要度が 3.77 となっている。



- 16. 森林や川などの自然環境の保全
- 17. 草刈りや花壇づくりなど、住民による環境美化活動の定着
- 18. ごみの分別収集の徹底
- 19. 空き家・空き地対策
- 20. 公園、広場など町民の憩いの場整備
- 21. 歩行者や自転車も含め、町内を快適、安全に移動できる道路の整備
- 22. コミュニティバスや良いともタクシーなどの公共交通
- 23. 交通安全や防犯対策
- 24. 火災や風水害などの災害に対しての防災施設や整備
- 25. 消防、救急救助体制
- 26. 除排雪による道路・歩道の交通確保
- 27. 安全な水道水の安定的供給
- 28. 公共下水道や合併処理浄化槽などによる良好な生活環境の確保
- 29. 石油、電気、ガス、水道を無駄に使わない省エネルギーの普及や取組
- 30. 太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの取組

④行政情報の提供について

◆行政情報の提供の2項目については、いずれも検討項目となっている。 「32. 町への意見・提言や町政への住民参加の機会」については、重要度が 3.64、満足度が 2.80 と両方の評価ともに低くなっている。



- 31. 町が行う施策・事業の内容に関する情報提供
- 32. 町への意見・提言や町政への住民参加の機会

⑤総括表

◆各項目(設問)の重要度と満足度の平均値と評価区分(ゾーン)を、以下の表に整理した。 継続向上項目は生活環境・安全安心分野の1項目のみで、課題項目が14項目、検討項目は17 項目と、検討項目が最も多くなっている。

※区分(ゾーン):◇は継続向上項目、☆は課題項目、★は検討項目を示す。

分野	項目(設問)	重要度	満足度	区分 (ゾーン)
	1. 高齢者福祉サービスの提供	4.24	3.00	☆
	2. 高齢者の就労や学習、趣味活動など社会参加の機会確保	3.73	2.85	*
福	3. 地域での助け合いによる高齢者が住みやすい環境	4.04	2.94	☆
祉	4. 障がい者が住み慣れた地域で生活するための環境や支援策	4.07	2.95	☆
	5. 障がい者の就労や趣味活動など社会参加の機会確保	3.79	2.72	*
医療	6. 働きながら子育てをしやすい環境	3.96	2.85	*
	7. 地域での助け合いによる安心して子育てをできる環境	3.76	2.68	*
	8. 安心して医療を受けることができる環境	4.35	2.73	☆
	9. 健康づくりに取り組みやすい環境	4.07	3.03	☆
	10. 子どもたちが確かな学力と体力を身につけることができる	4.06	2.69	☆
教	11. 子どもたちが安全で安心な楽しい学校生活を送ることができる環境	4.11	2.87	☆
ス育 ポ・ 大	子どもたちが学校外において、社会の変化に対応できる力を身につけ 12. るための様々な体験機会	3.90	2.83	*
・んり	13. 自主活動や生涯各期における生涯学習の参加機会	3.56	2.73	*
	14. 芸術・文化に親しむことができる機会	3.48	2.79	*
	15. スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる機会	3.57	2.82	*
	16. 森林や川などの自然環境の保全	3.93	2.94	*
	17. 草刈りや花壇づくりなど、住民による環境美化活動の定着	3.69	2.95	*
	18. ごみの分別収集の徹底	4.03	3.09	☆
	19. 空き家・空き地対策	3.77	2.37	*
生	20. 公園、広場など町民の憩いの場整備	3.64	2.86	*
活環境	21. 歩行者や自転車も含め、町内を快適、安全に移動できる道路の整備	3.96	2.90	*
境	22. コミュニティバスや良いともタクシーなどの公共交通	3.97	3.12	*
:	23. 交通安全や防犯対策	4.07	3.09	☆
安全安	24. 火災や風水害などの災害に対しての防災施設や整備	4.10	2.82	☆
安	25. 消防、救急救助体制	4.24	3.25	☆
心	26. 除排雪による道路・歩道の交通確保	4.33	2.72	☆
	27. 安全な水道水の安定的供給	4.35	3.52	\Diamond
	28. 公共下水道や合併処理浄化槽などによる良好な生活環境の確保	4.25	3.45	☆
	29. 石油、電気、ガス、水道を無駄に使わない省エネルギーの普及や取組	4.07	2.91	☆
	30. 太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの取組	3.68	2.68	*
行 提 提	31. 町が行う施策・事業の内容に関する情報提供	3.84	2.95	*
提情 供報 の	32. 町への意見・提言や町政への住民参加の機会	3.64	2.80	*
全	33. ですか	5.	88	_
体	34. 下川町のまちづくりに対する関心度を点数で表すと何点ですか	5.	94	-

3. 定住・生活環境について

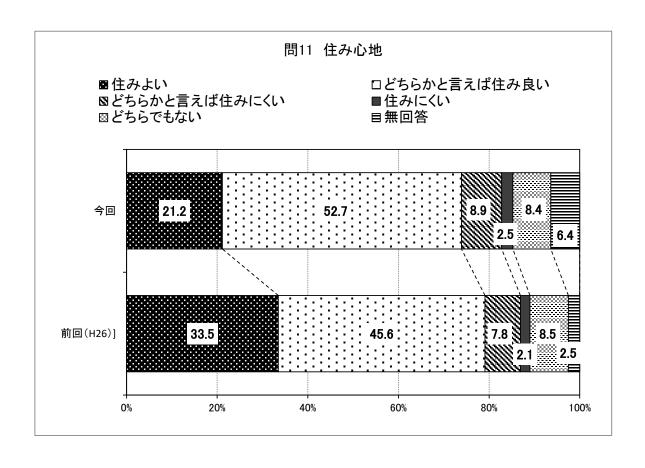
(1)住み心地

◆「どちらかと言えば住み良い」が52.7%で最も多く、「住み良い(21.2%)」と合わせると73.9%が"住み良い"と回答。

一方、「どちらかと言えば住みにくい(8.9%)」と「住みにくい(2.5%)」を合わせた"住みにくい"は 11.4%となっている。

前回との比較では、「住み良い」が前回よりも 13 ポイント少なくなり (33.5%→21.2%)、「どちらかと言えば住み良い」が7ポイント高くなった。"住みにくい"は前回 9.9%、今回 11.4% とほぼ横ばいとなっている。

年齢別では、18~29歳で「どちらかと言えば住みにくい(16.1%)」と「住みにくい(4.8%)」を合わせた"住みにくい"が20.9%と、住みにくいが29%を超える唯一の世代となっている。居住公区別では、上名寄第1公区・上名寄第3公区・三和公区で「住み良い」が30%を超えている。



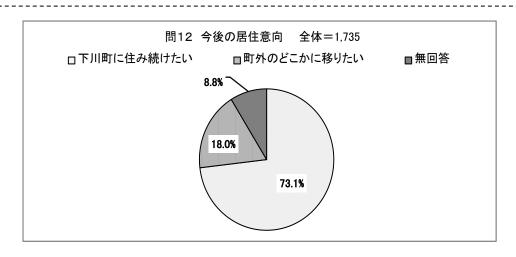
(%)

	合計	住み良い	どちらかと 言えば住 み良い	どちらかと 言えば住 みにくい	住みにくい	どちらでも ない	無回答
【全体】	1,735	21.2	52.7	8.9	2.5	8.4	6.4
【年齢】							
18~29歳	62	▼ 11.3	56.5	△ 16.1	4.8	9.7	1.6
30~39歳	177	16.9	55.4	13.6	3.4	6.8	4.0
40~49歳	252	13.9	△ 59.5	11.1	3.6	8.3	3.6
50~59歳	263	▼ 15.2	56.3	Δ 14.1	3.4	9.5	1.5
60~69歳	367	21.0	53.7	8.4	2.5	9.8	4.6
70歳以上	563	Δ 29.8	48.0	▼ 3.7	1.1	7.5	9.9
【居住公区】							
上名寄第1公区	22	Δ 31.8	△ 40.9	4.5	4.5	9.1	9.1
上名寄第2公区	22	▼ 13.6	O 63.6	4.5	0.0	Δ 13.6	4.5
上名寄第3公区	76	O 32.9	▼ 47.4	6.6	1.3	6.6	5.3
中成南公区	181	20.4	54.7	8.3	2.2	11.0	3.3
中成北公区	155	23.9	48.4	7.7	5.2	8.4	6.5
班渓公区	34	△ 29.4	52.9	5.9	2.9	5.9	2.9
北町公区	31	22.6	41.9	9.7	3.2	9.7	Δ 12.9
元町公区	127	▼ 15.7	52.8	5.5	3.1	Δ 13.4	9.4
幸町公区	97	17.5	52.6	13.4	2.1	10.3	4.1
錦町公区	180	25.0	53.3	6.7	1.7	8.9	4.4
共栄町公区	96	18.8	57.3	13.5	0.0	5.2	5.2
旭町公区	191	▼ 15.2	56.5	11.5	2.1	5.2	9.4
緑町公区	94	20.2	△ 58.5	8.5	2.1	6.4	4.3
末広町公区	209	18.7	O 63.2	8.1	2.4	5.7	1.9
新町公区	40	25.0	● 40.0	O 22.5	0.0	7.5	5.0
三和公区	43	O 34.9	▼ 44.2	4.7	0.0	4.7	Δ 11.6
二の橋公区	21	9.5	57.1	▼ 0.0	4.8	© 28.6	▼ 0.0
一の橋公区	44	25.0	● 40.9	13.6	4.5	11.4	▼ 4.5
無回答	72	22.2	♦ 30.6	8.3	5.6	6.9	© 26.4

(2)今後の居住意向

◆「下川町に住み続けたい(73.1%)」が70%を超えている。「町外のどこかに移りたい」は18.0%であり、20%弱が転居の意向を示している。

年齢別では、60歳以上の年齢層で77%を超える人が「下川町に住み続けたい」と回答。 一方、40歳未満の年齢層で30%を超える人が「町外のどこかに移りたい」と回答している。 居住公区別では、共栄町公区・新町公区で30%を超える人が「町外のどこかに移りたい」と回答している。 答している。

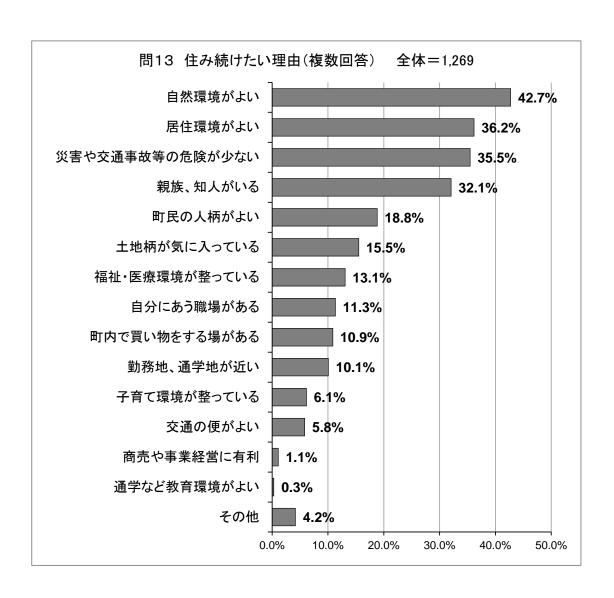


(%)

	合計	住	住み続け たい		町外のどこ かに移りた い		回答
【全体】	1,735		73.1	18.0		8.8	
【年齢】				-			
18~29歳	62	♦	59.7	0	32.3		8.1
30~39歳	177	•	65.5	0	30.5		4.0
40~49歳	252		69.4	Δ	25.8		4.8
50~59歳	263		68.4	0	29.3	•	2.3
60~69歳	367		77.4		14.2		8.4
70歳以上	563	4	79.9	•	6.6		13.5
【居住公区】							
上名寄第1公区	22	Δ	81.8	Δ	9.1		9.1
上名寄第2公区	22	0	100.0	♦	0.0	•	0.0
上名寄第3公区	76	0	85.5	•	2.6		11.8
中成南公区	181		71.8		21.0		7.2
中成北公区	155		70.3		20.6		9.0
班渓公区	34	Δ	82.4	▼	11.8		5.9
北町公区	31		74.2	▼	9.7	Δ	16.1
元町公区	127		74.0		15.7		10.2
幸町公区	97	Δ	80.4		15.5		4.1
錦町公区	180		74.4		18.9		6.7
共栄町公区	96	•	62.5	0	30.2		7.3
旭町公区	191		71.2		15.7		13.1
緑町公区	94	Δ	78.7	Δ	19.1	•	2.1
末広町公区	209		74.6		20.1		5.3
新町公区	40	•	60.0	0	32.5		7.5
三和公区	43	Δ	79.1	•	7.0	Δ	14.0
二の橋公区	21	0	85.7	•	9.5		4.8
一の橋公区	44	♦	56.8	Δ	27.3	Δ	15.9
無回答	72	♦	56.9		19.4	0	23.6

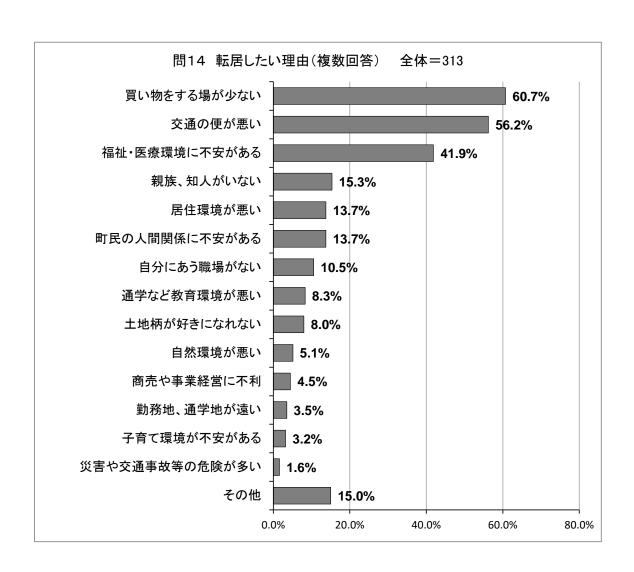
(3)住み続けたい理由(複数回答)

◆「自然環境がよい」が 40%強。「居住環境がよい」・「災害や交通事故等の危険が少ない」・「親族、知人がいる」が 30%を超える。



(4)転居したい理由(複数回答)

◆「買い物をする場が少ない(60.7%)」・「交通の便が悪い(56.2%)」が50%を超え、「福祉・ 医療環境に不安がある(41.9%)」が40%を超えて多い回答。



4. 公区活動・社会活動への参加について

(1)参加状況

◆公区活動・社会活動の両方またはどちらかに「参加している」が 44.2%。「参加していない」 が 37.6%。「現在は参加していないが、今後参加したい」が 7.6%となっている。

年齢別では、60歳代で公区活動・社会活動の両方またはどちらかに「参加している」が50.4%と唯一、50%強となっている。29歳以下で「参加していない(53.2%)」が50%を超える一方で、「現在は参加していないが、今後参加したい」が19.4%となっている。

職業別では、経営者・役員で公区活動・社会活動の両方またはどちらかに「参加している」が 58.3%で60%弱を占めている。

問15 公区活動や社会活動の参加状況 全体=1,735

□公区活動・社会活動の両方に参加している

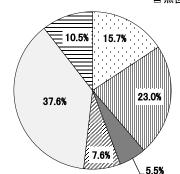
⊞公区活動に参加している

■社会活動に参加している

□参加していない

図現在は参加していないが、今後参加したい

□無回答



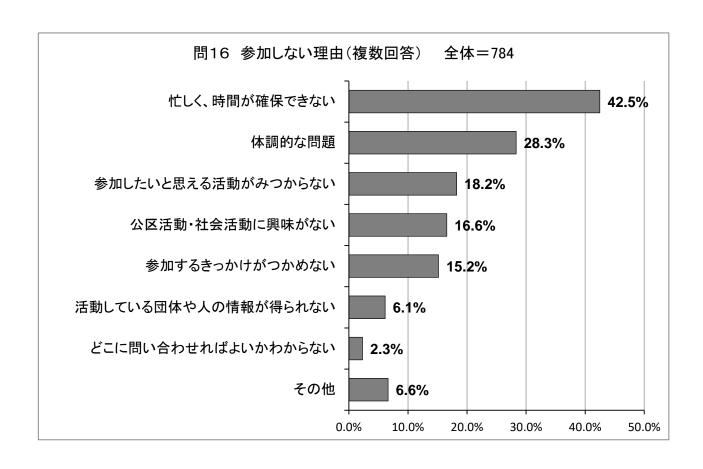
公区活動・社会活動の 両方に参加している	公区活動に参加して いる	社会活動に参加して いる	現在は参加していないが、今後参加したい	参加していない	無回答	合計
273	399	96	131	653	183	1,735
15.7%	23.0%	5.5%	7.6%	37.6%	10.5%	100.0%

(%)

	合計	公区活動・ 社会活動 の両方に 参加してい る	公区活動に参加している	社会活動に参加している	現在は参 加していな いが、今後 参加したい		無回答
【全体】	1,735	15.7	23.0	5.5	7.6	37.6	10.5
【年齢】							
18~29歳	62	● 3.2	19.4	1.6	O 19.4	© 53.2	▼ 3.2
30~39歳	177	13.6	▼ 15.3	Δ 12.4	9.6	△ 45.2	▼ 4.0
40~49歳	252	17.9	▼ 17.1	9.1	9.5	41.7	▼ 4.8
50~59歳	263	19.4	18.6	7.2	8.0	42.2	▼ 4.6
60~69歳	367	14.7	Δ 32.4	3.3	7.6	33.8	8.2
70歳以上	563	16.3	25.8	3.4	5.0	▼ 31.8	Δ 17.8
【職業】							
経営者·役員	156	Δ 25.6	Δ 28.2	4.5	6.4	25.6	9.6
正規社員·職員·従業員	428	17.1	18.9	7.9	10.5	41.8	▼ 3.7
非正規社員·職員·従業員	287	15.7	22.3	8.4	10.1	38.3	▼ 5.2
専業主婦(主夫)	199	▼ 10.1	Δ 29.6	4.5	7.5	38.7	9.5
無職	480	13.3	22.9	3.1	5.2	39.0	Δ 16.5
その他	105	Δ 21.9	Δ 31.4	2.9	2.9	▼ 29.5	11.4

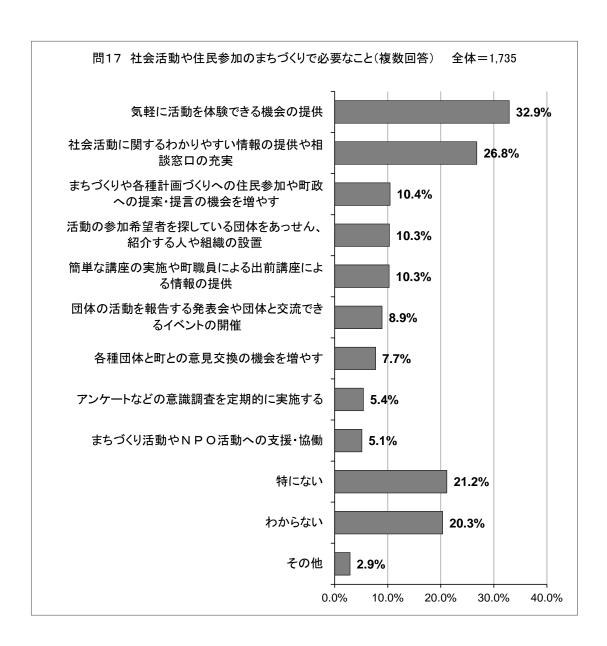
(2)参加しない理由(複数回答)

◆公区活動・社会活動に参加しない(してこなかった)主な理由としては、「忙しく、時間が確保できない」が42.5%で最も多く、次いで「体調的な問題」が28.3%で多くなっている。



(3)社会活動や住民参加のまちづくりを進めるうえで必要と思うこと(複数回答)

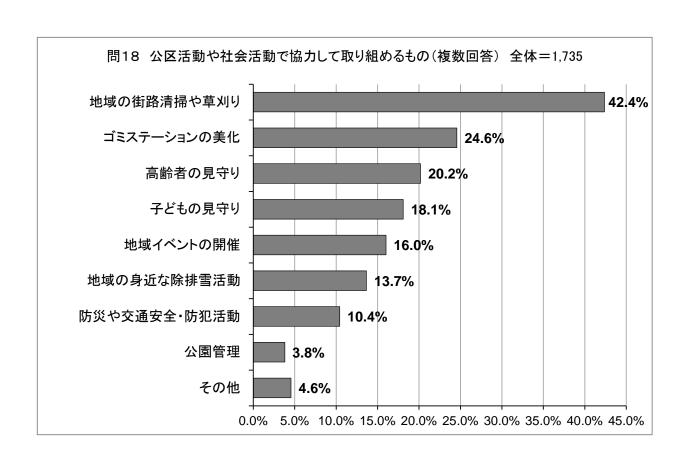
◆「気軽に活動を体験できる機会の提供」が32.9%で最も多く、次いで「社会活動に関するわかりやすい情報の提供や相談窓口の充実」が26.8%で多くなっている。



(4)公区活動や社会活動の中で協力して取り組めるもの(複数回答)

◆「地域の街路清掃や草刈り(42.4%)」が 40%を超えて最も多く、次いで 20%を超えて多い 回答は「ゴミステーションの美化(24.6%)」と「高齢者の見守り(20.2%)」となっている。 年齢別では、40~59歳で「地域の街路清掃や草刈り」が 50%弱、39歳以下で「子どもの見 守り」が 30%半ば、29歳以下で「地域イベントの開催」が 30%強、「公園管理」が 15%と 多くなっている。

職業別では、経営者・役員で全ての選択肢について協力の意向が高くなっている。



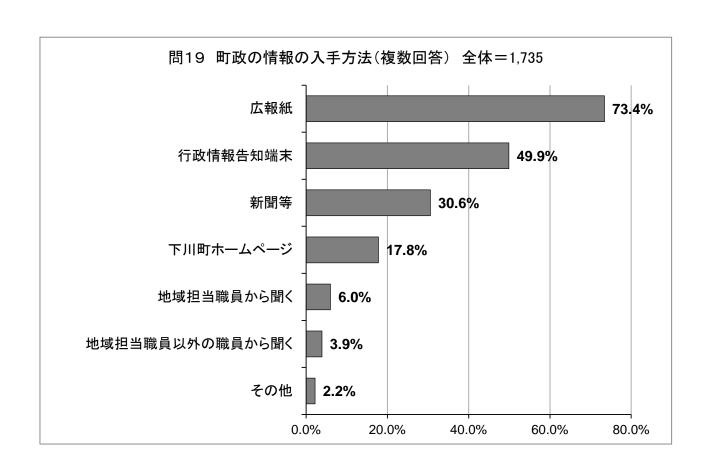
(%)

								(70)			
	合計	地域の街 路清掃や 草刈り	ゴミステー ションの美 化	高齢者の 見守り	子どもの見 守り	地域イベン トの開催	近な除排	防災や交 通安全・防 犯活動			
【全体】	1,735	42.4	24.6	20.2	18.1	16.0	13.7	10.4			
【年齢】											
18~29歳	62	43.5	O 9.7	22.6	© 35.5	© 33.9	16.1	14.5			
30~39歳	177	40.1	26.6	© 16.9	© 37.9	19.8	Δ 23.2	6.2			
40~49歳	252	42.5	25.4	18.3	O 29.0	17.1	18.3	6.7			
50~59歳	263	△ 48.3	28.9	23.2	17.1	Δ 21.3	13.3	14.1			
60~69歳	367	Δ 48.0	28.3	22.9	▼ 11.2	14.2	14.7	11.4			
70歳以上	563	38.7	22.0	19.9	▼ 11.0	12.1	▼ 8.5	10.5			
【職業】		3		5	-		-				
経営者·役員	156	O 53.2	25.6	Δ 26.9	15.4	Δ 25.6	18.6	Δ 19.2			
正規社員·職員·従業員	428	△ 47.9	24.5	18.2	Δ 24.8	Δ 20.3	18.2	11.2			
非正規社員·職員·従業員	287	46.3	29.3	23.0	△ 25.4	17.8	16.0	8.7			
専業主婦(主夫)	199	40.7	27.1	25.1	18.6	16.1	▼ 5.5	7.5			
無職	480	▼ 34.4	23.1	18.5	▼ 9.8	▼ 10.4	11.7	8.8			
その他	105	△ 47.6	20.0	19.0	17.1	15.2	14.3	13.3			

	合計	公園管理	その他
【全体】	1,735	3.8	4.6
【年齢】			
18~29歳	62	O 14.5	1.6
30~39歳	177	5.6	4.5
40~49歳	252	2.8	7.9
50~59歳	263	4.6	2.7
60~69歳	367	3.8	3.3
70歳以上	563	2.3	5.2
【職業】	-	-	
経営者·役員	156	4.5	1.9
正規社員·職員·従業員	428	5.6	4.4
非正規社員·職員·従業員	287	4.9	2.8
専業主婦(主夫)	199	1.5	5.0
無職	480	2.9	6.3
その他	105	1.9	4.8

5. 行政情報について(複数回答)

◆町政に関する情報の主な入手方法としては、「広報紙(73.4%)」が 70%を超えて突出して多くなっている。次いで「行政情報告知端末(49.9%)」が多い回答となっている。

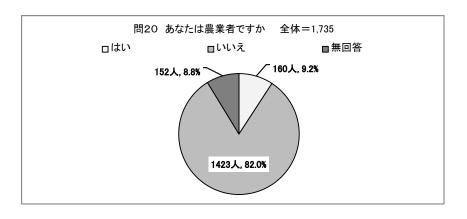


6. 各分野において重点的に取り組むべき施策について

(1)農業振興について

①あなたは農業者ですか

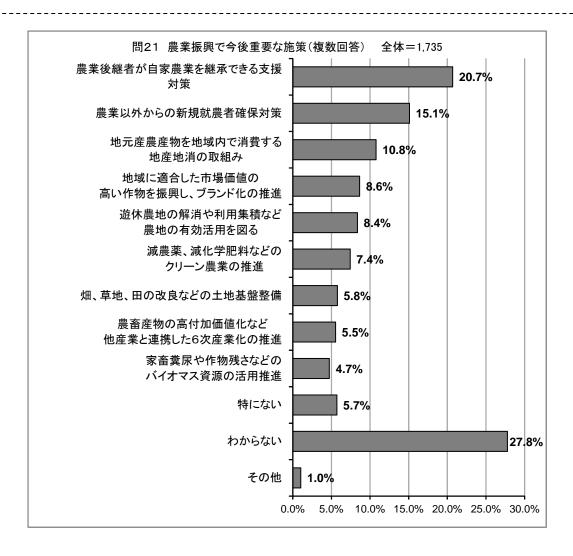
農業者の回答が160人。



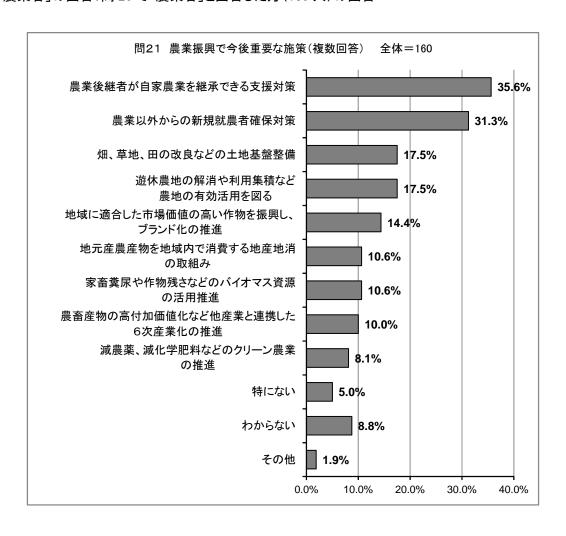
②農業振興で今後重要な施策

◆「農業後継者が自家農業を継承できる支援対策」が20.7%で最も多く、次いで「農業以外から の新規就農者確保対策」が15.1%で多い回答となっている。

農業者の回答では上位2つは町民全体と同様であるが、第3位が「畑、草地、田の改良などの土 地基盤整備」と「遊休農地の解消や利用集積など農地の有効活用を図る」がそれぞれ 17.5%と 比較的多くなっている。



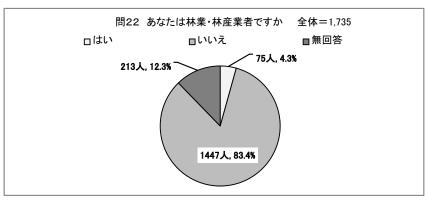
〇「農業者」の回答: 問20で「農業者」と回答した方(160人)の回答



(2)林業・林産業振興について

①あなたは林業・林産業者ですか

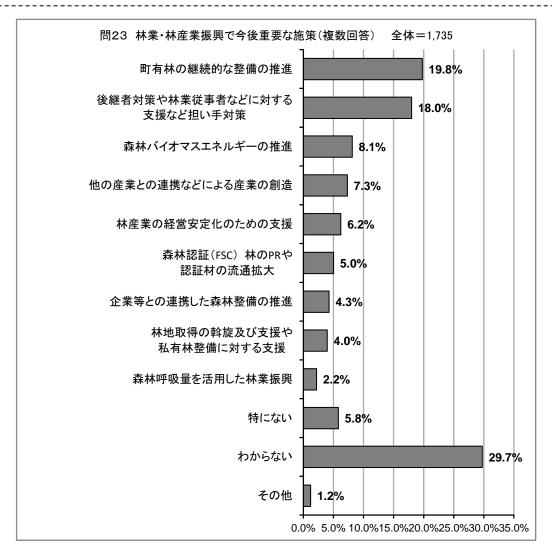
林業・林産業者の回答が75人。



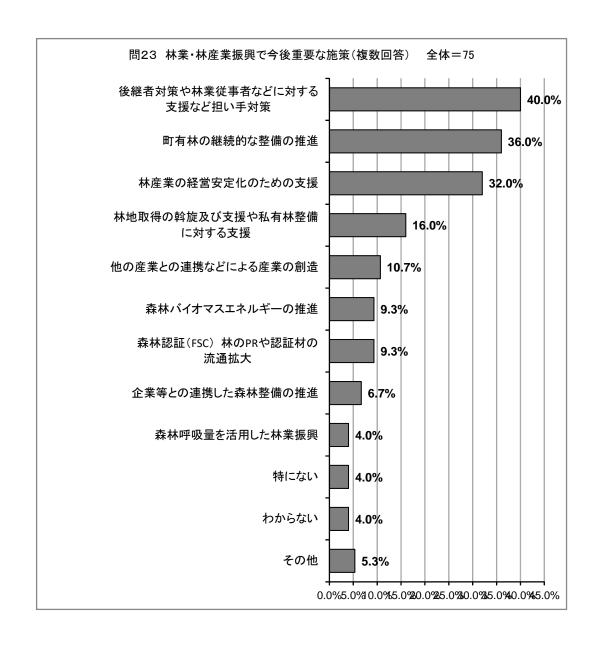
②林業・林産業振興で今後重要な施策

◆「町有林の継続的な整備の推進」が 19.8%、「後継者対策や林業従事者などに対する支援など 担い手対策」が 18.0%と、この2つが多い回答となっている。

林業・林産業者の回答では上位2つの回答は町民全体の回答と同様であるが、第3位が「林産業の経営安定化のための支援(32.0%)」となっている。



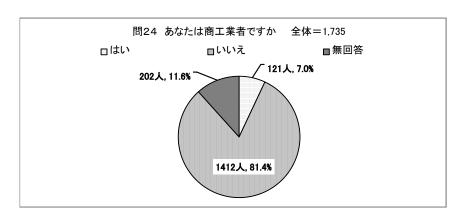
○「林業・林産業者」の回答: 問 22 で「林業・林産業者」と回答した方(75 人)の回答



(3) 商工業振興について

①あなたは商工業者ですか

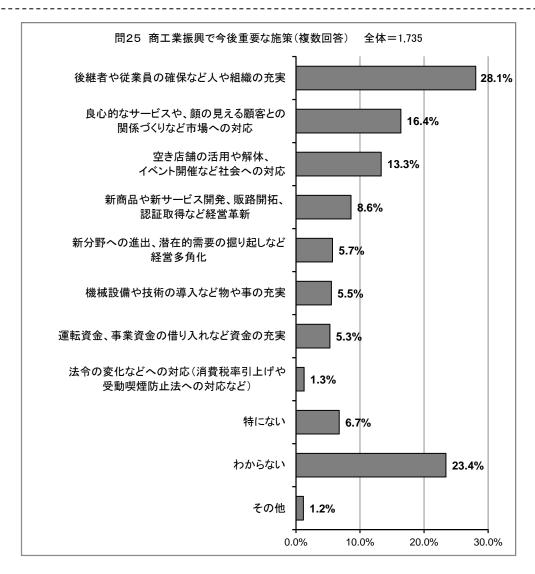
商工業者の回答が 121 人



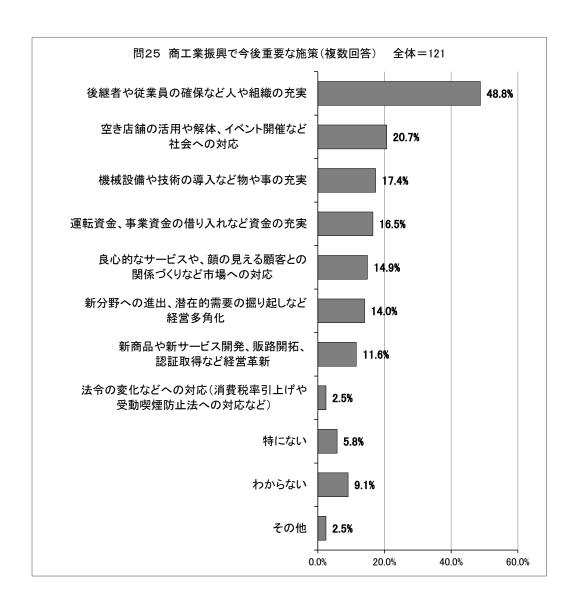
②商工業振興で今後重要な施策

◆「後継者や従業員の確保など人や組織の充実」が28.1%で最も多く、次いで「良心的なサービスや、顔の見える顧客との関係づくりなど市場への対応(16.4%)」、「空き店舗の活用や解体、イベント開催など社会への対応(13.3%)」の2つが多い回答となっている。

商工業者の回答としては、「機械設備や技術の導入など物や事の充実(17.4%)」・「運転資金、 事業資金の借り入れなど資金の充実(16.5%)」の2つが比較的多い回答となっている。



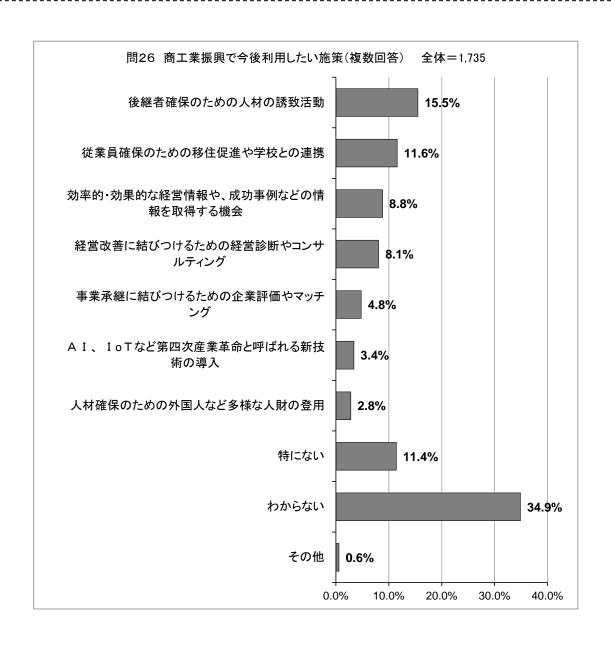
○「商工業者」の回答:問 24 で「商工業者」と回答した方(121 人)の回答



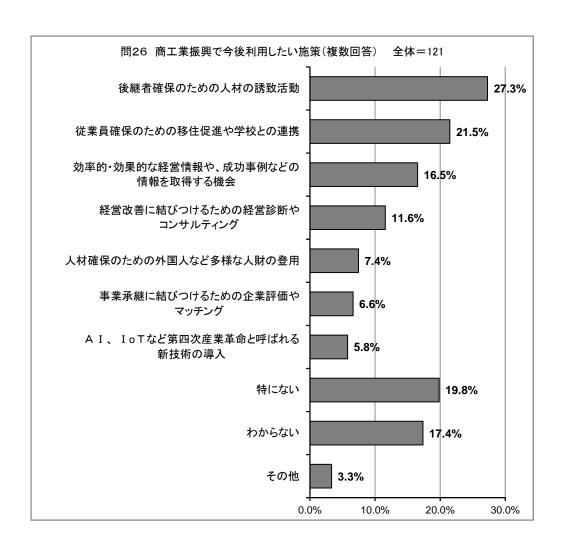
③商工業振興で今後利用したい施策(複数回答)

◆「わからない」が 34.9%で最も多くなっている。具体的な回答としては、「後継者確保のための人材の誘致活動(15.5%)」と「従業員確保のための移住促進や学校との連携(11.6%)」の2つが多い回答であるが、いずれも 10%台となっている。

商工業者の回答としても、町民全体の回答の順位と同様の傾向となっている。



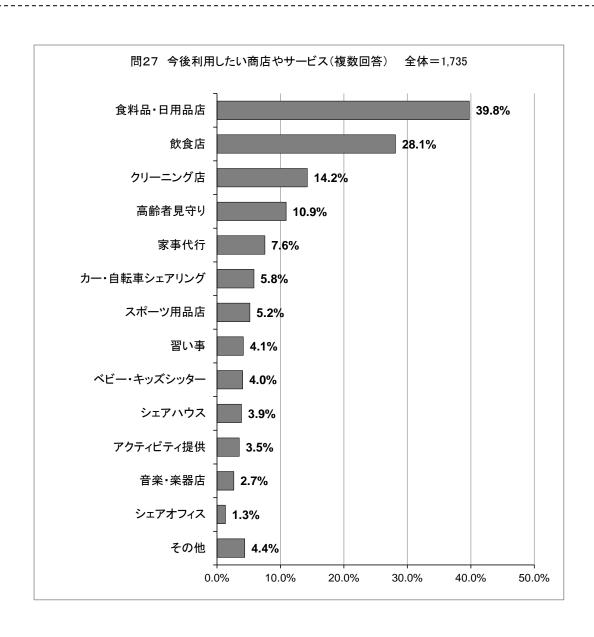
○「商工業者」の回答:問 24 で「商工業者」と回答した方(121 人)の回答



④今後利用したい商店やサービス(複数回答)

◆「食料品・日用品店」が39.8%で最も多く、次いで「飲食店」が28.1%で多い回答となっている。「クリーニング店(14.2%)」と「高齢者見守り(10.9%)」が10%台で続いている。 年齢別では、49歳以下で「飲食店」が40%を超えて多くなっている。また、30~39歳で「カー・自転車シェアリング」が10%強で比較的多い回答となっている。

職業別では、専業主婦(主夫)で「食料品・日用品店(48.2%)」が50%弱、正規社員・職員・ 従業員で「飲食店(45.6%)」が40%半ばと多くなっている。

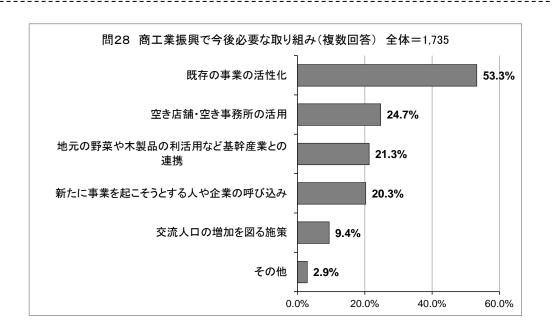


(%)

	合計	食料品•日 用品店	飲食店	クリーニン グ店	高齢者見 守り	家事代行	カー・自転 車シェアリ ング	スポーツ用品店
【全体】	1,735	39.8	28.1	14.2	10.9	7.6	5.8	5.2
【年齢】								
18~29歳	62	40.3	© 53.2	Δ 21.0	6.5	▼ 1.6	6.5	O 19.4
30~39歳	177	42.4	© 50.3	14.1	6.8	7.3	Δ 12.4	O 11.3
40~49歳	252	38.1	43.3	17.5	6.0	7.5	Δ 11.5	5.6
50~59歳	263	44.5	O 40.7	△ 21.7	5.7	8.0	6.5	5.3
60~69歳	367	39.2	O 18.0	12.5	11.7	9.0	4.4	3.5
70歳以上	563	39.4	O 13.7	10.7	Δ 17.1	7.1	2.3	3.0
【職業】								
経営者·役員	156	43.6	△ 37.2	12.8	7.1	5.8	3.2	1.9
正規社員·職員·従業員	428	36.4		△ 19.9	8.2	8.4	Δ 11.0	9.8
非正規社員・職員・従業員	287	40.4	32.4	13.6	▼ 4.9	4.9	7.7	7.0
専業主婦(主夫)	199	△ 48.2	△ 21.1	17.6	15.6	9.0	3.5	3.0
無職	480	41.7	O 14.4	▼ 9.2	△ 16.7	7.9	3.1	3.3
その他	105	34.3	© 22.9	17.1	10.5	9.5	3.8	1.9
			ベビー・					
	合計	習い事	ヘビー・ キッズシッ ター	シェアハウ ス	アクティビ ティ提供	音楽·楽器 店	シェアオ フィス	その他
【全体】	合計 1,735	習い事 4.1	キッズシッ					その他 4.4
【全体】 【年齢】			キッズシッ ター	ス	ティ提供	店	フィス	
		4.1	キッズシッ ター	ス	ティ提供	店	フィス	
【年齢】	1,735	4.1	キッズシッ ター 4.0	3.9	ティ 提供 3.5	店 2.7	フィス 1.3	4.4
【年齢】 18~29歳	1,735 62	4.1	キッズシッ ター 4.0 8.1	3.9	ティ提供 3.5 △ 12.9	店 2.7 9.7	フィス 1.3 0.0	4.4
【年齢】 18~29歳 30~39歳	1,735 62 177	4.1 4.8 O 14.1	キッズシッ ター 4.0 8.1 〇 17.5	3.9 4.8 2.8	ティ提供 3.5 △ 12.9 7.3	店 2.7 9.7 6.2	1.3 0.0 4.0	4.4 4.8 5.1
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳	1,735 62 177 252	4.1 4.8 O 14.1 6.3	キッズシッ ター 4.0 8.1 〇 17.5 6.7	3.9 4.8 2.8 2.4	ティ提供 3.5 △ 12.9 7.3 7.9	店 2.7 9.7 6.2 3.2	1.3 0.0 4.0 2.0	4.4 4.8 5.1 8.7
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳	1,735 62 177 252 263	4.8 O 14.1 6.3 2.7	キッズシッ ター 4.0 8.1 〇 17.5 6.7 2.3	3.9 4.8 2.8 2.4 3.4	ティ提供 3.5 △ 12.9 7.3 7.9 4.9	9.7 6.2 3.2 4.6	1.3 0.0 4.0 2.0	4.4 4.8 5.1 8.7 3.8
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳	1,735 62 177 252 263 367	4.1 4.8 O 14.1 6.3 2.7 2.5	キッズシッ ター 4.0 8.1 〇 17.5 6.7 2.3 1.9	3.9 4.8 2.8 2.4 3.4 6.8	ティ提供 3.5 △ 12.9 7.3 7.9 4.9 1.4	9.7 6.2 3.2 4.6 1.6	1.3 0.0 4.0 2.0 1.1 1.4	4.4 4.8 5.1 8.7 3.8 3.3
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上	1,735 62 177 252 263 367	4.1 4.8 O 14.1 6.3 2.7 2.5	キッズシッ ター 4.0 8.1 〇 17.5 6.7 2.3 1.9	3.9 4.8 2.8 2.4 3.4 6.8	ティ提供 3.5 △ 12.9 7.3 7.9 4.9 1.4	9.7 6.2 3.2 4.6 1.6	1.3 0.0 4.0 2.0 1.1 1.4	4.4 4.8 5.1 8.7 3.8 3.3
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】	1,735 62 177 252 263 367 563	4.1 4.8 O 14.1 6.3 2.7 2.5 2.0	キッズシッ ター 4.0 8.1 〇 17.5 6.7 2.3 1.9 0.5	3.9 4.8 2.8 2.4 3.4 6.8 3.2	ティ提供 3.5 12.9 7.3 7.9 4.9 1.4 0.2	9.7 6.2 3.2 4.6 1.6 0.2	1.3 0.0 4.0 2.0 1.1 1.4 0.2	4.4 4.8 5.1 8.7 3.8 3.3 3.4
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】 経営者・役員	1,735 62 177 252 263 367 563	4.8 O 14.1 6.3 2.7 2.5 2.0	*************************************	3.9 4.8 2.8 2.4 3.4 6.8 3.2	ティ提供 3.5 12.9 7.3 7.9 4.9 1.4 0.2	店 2.7 9.7 6.2 3.2 4.6 1.6 0.2	1.3 0.0 4.0 2.0 1.1 1.4 0.2	4.4 4.8 5.1 8.7 3.8 3.3 3.4
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】 経営者・役員 正規社員・職員・従業員	1,735 62 177 252 263 367 563 156 428	4.1 4.8 O 14.1 6.3 2.7 2.5 2.0 5.1 6.3	キッズシッター 4.0 8.1 ○ 17.5 6.7 2.3 1.9 0.5	3.9 4.8 2.8 2.4 3.4 6.8 3.2 6.4 3.7	ティ提供 3.5 △ 12.9 7.3 7.9 4.9 1.4 0.2 5.1 7.9	店 2.7 9.7 6.2 3.2 4.6 1.6 0.2 1.9 5.8	1.3 0.0 4.0 2.0 1.1 1.4 0.2	4.4 4.8 5.1 8.7 3.8 3.3 3.4 2.6 5.1
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】 経営者・役員 正規社員・職員・従業員 非正規社員・職員・従業員	1,735 62 177 252 263 367 563 156 428	4.1 4.8 O 14.1 6.3 2.7 2.5 2.0 5.1 6.3 5.2	*** **・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3.9 4.8 2.8 2.4 3.4 6.8 3.2 6.4 3.7 3.8	ティ提供 3.5 △ 12.9 7.3 7.9 4.9 1.4 0.2 5.1 7.9 4.2	9.7 6.2 3.2 4.6 1.6 0.2 1.9 5.8 3.8	1.3 0.0 4.0 2.0 1.1 1.4 0.2	4.4 4.8 5.1 8.7 3.8 3.3 3.4 2.6 5.1 3.8

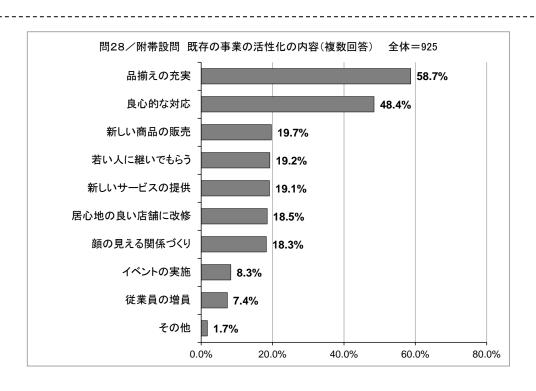
⑤商工業振興で今後必要な取り組み(複数回答)

◆「既存の事業の活性化」が半数を超えて53.3%で最も多くなっている。次に多い回答は20%台の3つとなっている。その3つは、「空き店舗・空き事務所の活用(24.7%)」、「地元の野菜や木製品の利活用など基幹産業との連携(21.3%)」、「新たに事業を起こそうとする人や企業の呼び込み(20.3%)」となっている。



⑥既存の事業の活性化の内容について(問28の附帯設問/複数回答)

◆『「既存の事業の活性化」はどのような内容か』の附帯設問の回答としては、「品揃えの充実 (58.7%)」が最も多く、次いで「良心的な対応(48.4%)」が続いている。

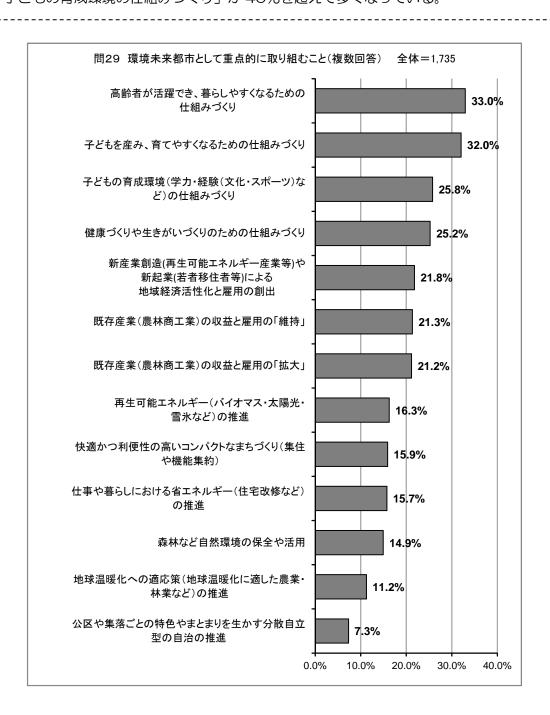


(4)環境未来都市の推進について(複数回答)

◆「高齢者が活躍でき、暮らしやすくなるための仕組みづくり(33.0%)」と「子どもを産み、育てやすくなるための仕組みづくり(32.0%)」の2つが30%を超えて多い回答となっている。 次いで「子どもの育成環境の仕組みづくり(25.8%)」と「健康づくりや生きがいづくりのための仕組みづくり(25.2%)」が25%程度で続いている。

年齢別では、39歳以下で「子どもを産み、育てやすくなるための仕組みづくり」と「子どもの育成環境の仕組みづくり」が50%を超えて多い回答となっている一方、70歳以上で10%台と少なくなっている。また、18~29歳で「再生可能エネルギーの推進」と「森林など自然環境の保全や活用」が30%を超えて多くなっている。

職業別では、正規社員・職員・従業員で「子どもを産み、育てやすくなるための仕組みづくり」 と「子どもの育成環境の仕組みづくり」が 40%を超えて多くなっている。



(%)

													(%)
	合計	高齢者が 活躍でき、 暮らしやす くなるため の仕組み づくり	み、すくめの	育てや なるた D仕組	成力・プランド	経験 化・ス ·ツ)な の仕組	健康づくり や生きが いづくりの ための仕 組みづくり	造能ギ等業住よ済	業年、産業者等地性用_ 創可、業起移に経化の に経済を表現した。	(農林業)(業)(の収益用の	(農本業)(産業 林商工益 用の 大」
【全体】	1,735	33.0		32.0		25.8	25.2		21.8		21.3		21.2
【年齢】													
18~29歳	62	30.6	0	58.1	0	51.6	24.2	0	32.3	•	11.3		24.2
30~39歳	177		0	55.9	0	55.4	26.6		25.4		27.1		22.0
40~49歳	252		0	46.4	0	36.9	22.6		25.8	Δ	28.2		21.0
50~59歳	263	33.8		33.5		30.0	27.0	Δ	27.0		23.6	Δ	28.5
60~69歳	367	37.3	▼		▼	17.2	26.7		19.6		24.5		23.4
70歳以上	563	37.7		19.7		13.3	25.8		17.6	lacktriangle	15.1		17.2
【職業】										_			
経営者・役員	156		Δ	37.2		28.8	25.6	Δ	30.1	0	30.8	Δ	29.5
正規社員・職員・従業員	428		0	40.4	0	40.2	26.9	Δ	29.9	Δ	26.9	Δ	28.5
非正規社員・職員・従業員	287	35.2		36.6		30.0	24.4		17.1		22.0		16.7
専業主婦(主夫)	199	36.7		31.7		23.1	28.6		17.1	_	20.1		17.1
無職	480	37.3	^	21.3		12.5	25.6		20.2	▼	14.2	^	18.1
その他	105	▼ 27.6	Δ	37.1		27.6	23.8	▼	15.2		23.8	Δ	27.6
		再生可能 エネル ギー(バイ	利便	iかつ i性の コンパ	らし	や暮 におけ		化へ応策	[(地球	落ご色や	や集 との特 まとま		
	合計	オマス・太	クトグ	なまち リ(集 ・機能	ギー	など)	日然環境 の保全や 活用	道し業・	それに た農 林業な の推進	分散	生かす (自立)自治		
【全体】	合計 1,735	オマス·太 陽光·雪氷 など)の推	クトが づく! 住や	なまち リ(集 ・機能	ギー 改修	·(住宅 など)	の保全や	道し業・	た農 林業な	分散 型の	生かす (自立)自治		
【全体】 【年齢】		オマス・太 陽光・雪氷 など)の推 進	クトが づく! 住や	なまち リ(集 ・機能 I)	ギー 改修	·(住宅 など) 進	の保全や活用	道し業・	た農 林業な D推進	分散 型の	生かす (自立)自治 進		
【年齢】 18~29歳	1,735	オマス・太 陽光・雪氷 など)の推 進 16.3 ③ 32.3	クトが づく! 住や	はまち リ(集 機能 J) 15.9	ギー改修の推	·(住宅 など) 進	の保全や活用	道し業・	た農 林業な D推進	分散 型の	生かす (自立)自治 進 7.3		
【年齢】 18~29歳 30~39歳	1,735 62 177	オマス・太 陽光・雪氷 など)の推 進 16.3 ◎ 32.3 ○ 27.7	クトがづくい住業	はまち り(集 機能 り) 15.9 12.9 20.9	ギー酸の推	-(住宅 など) 進 15.7 22.6 22.6	の保全や 活用 14.9 ◎ 30.6 16.9	適し 業・ジ ど)(た農 林業な の推進 11.2	分散 型の	生かす (自立)自治 進 7.3		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳	1,735 62 177 252	オマス・太 陽光・雪氷 など)の推 進 16.3 ○ 32.3 ○ 27.7 △ 24.6	クトグでは、	はまち リ(集 機能 リ) 15.9 20.9 22.6	ギー改修の推	ではます。 (住宅 など) 連 15.7 22.6 22.6 25.4	の保全や 活用 14.9 ◎ 30.6 16.9 △ 21.8	適し 業・ジ ど)(た農 林業な 力推進 11.2 21.0	分散 型の	生かす (自立)自治 進 7.3 8.1 7.9 7.1		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳	1,735 62 177 252 263	オマス・太 陽光・雪氷 など)の推 進 16.3 ◎ 32.3 ◎ 27.7 △ 24.6 20.9	クトがづくい住業	はまち り(集 機能 り) 15.9 12.9 20.9	ギー酸の推	ではます。 15.7 22.6 22.6 25.4 19.0	の保全や 活用 14.9 ③ 30.6 16.9 △ 21.8 18.6	適し 業・ジ ど)(た農 林業な の推進 11.2 21.0 14.1	分散 型の	生かす (自立)自治 進 7.3 8.1 7.9 7.1 4.2		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳	1,735 62 177 252 263 367	オマス・太陽光・雪氷 など)の推進 16.3 ◎ 32.3 ◎ 27.7 △ 24.6 20.9 ▼ 10.4	クトパづく、住集	はまち (集 機能 15.9 12.9 20.9 22.6 21.3 15.0	ギー酸の指	ではました。 15.7 22.6 22.6 25.4 19.0 12.5	の保全や 活用 14.9 ◎ 30.6 16.9 △ 21.8	適し 業・ジ ど)(た農 林業な り推進 11.2 21.0 14.1 13.5 11.4 10.4	分散 型の	生かす (自立 (自治 (注) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (6) (6) (6)		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上	1,735 62 177 252 263	オマス・太陽光・雪氷 など)の推進 16.3 ◎ 32.3 ◎ 27.7 △ 24.6 20.9 ▼ 10.4	クトパづく、住集	はまち リ(集 機能 リ) 15.9 12.9 20.9 22.6 21.3	ギー酸の指	ではます。 15.7 22.6 22.6 25.4 19.0	の保全や 活用 14.9 ③ 30.6 16.9 △ 21.8 18.6	適し 業・ジ ど)(た農 休業な 11.2 21.0 14.1 13.5 11.4	分散 型の	生かす (自立)自治 進 7.3 8.1 7.9 7.1 4.2		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】	1,735 62 177 252 263 367 563	オマス・太陽光・雪氷など)の推進 16.3 ③ 32.3 ○ 27.7 △ 24.6 20.9 ▼ 10.4	クトがくいて生業	はまち り(集 機能 り) 15.9 20.9 22.6 21.3 15.0 10.7	ギー酸の指	では宅 など) 22.6 22.6 25.4 19.0 12.5 9.4	の保全や 活用 14.9 ③ 30.6 16.9 △ 21.8 18.6 12.3 10.1	適し 業・ジ ど)(た農 林業な り推進 11.2 21.0 14.1 13.5 11.4 10.4 8.7	分散 型の	生かす (自立)自治 進 7.3 8.1 7.9 7.1 4.2 6.8 8.9		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】 経営者・役員	1,735 62 177 252 263 367 563	オマス・太陽光・雪氷など)の推進 16.3 ③ 32.3 ○ 27.7 △ 24.6 20.9 ▼ 10.4 ▼ 9.2	クトグでは、	はまち り(集 機能 り) 15.9 20.9 22.6 21.3 15.0 10.7	ギーのが指	で(住宅 など) 進進 15.7 22.6 25.4 19.0 12.5 9.4	の保全や 活用 14.9 ③ 30.6 16.9 △ 21.8 18.6 12.3 10.1 △ 23.1	適し 業・ジ ど)(た農 林業な り推進 11.2 21.0 14.1 13.5 11.4 10.4 8.7	分散 型の	生かす (自立)自治 進 7.3 8.1 7.9 7.1 4.2 6.8 8.9		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】 経営者・役員 正規社員・職員・従業員	1,735 62 177 252 263 367 563 156 428	オマス・太陽光・雪氷など)の推進 16.3 ③ 32.3 ○ 27.7 △ 24.6 20.9 ▼ 10.4 ▼ 9.2 △ 22.4 △ 24.1	クトがくいて生業	はまち り(集 機能 り) 15.9 20.9 22.6 21.3 15.0 10.7 21.8 19.6	ギー ・	15.7 22.6 22.6 25.4 19.0 12.5 9.4 14.1 20.8	の保全や活用14.9③ 30.616.9△ 21.818.612.310.1△ 23.1△ 20.1	適し 業・ジ ど)(た農 林業な り推進 11.2 21.0 14.1 13.5 11.4 10.4 8.7 14.1 12.9	分散 型の	生かす (自立) (自治) (注 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】 経営者・役員 正規社員・職員・従業員 非正規社員・職員・従業員	1,735 62 177 252 263 367 563 156 428 287	オマス・太陽光・雪氷など)の推進 16.3 ③ 32.3 ○ 27.7 △ 24.6 20.9 ▼ 10.4 ▼ 9.2	クトがくいて生業	はまち り(集 機能 り) 15.9 20.9 22.6 21.3 15.0 10.7 21.8 19.6	ギーのが指	で(住宅 など) 進進 15.7 22.6 25.4 19.0 12.5 9.4	の保全や 活用 14.9 ③ 30.6 16.9 △ 21.8 18.6 12.3 10.1 △ 23.1	適し 業・ジ ど)(た農 林業な り推進 11.2 21.0 14.1 13.5 11.4 10.4 8.7	分散 型の	生かす (自立) (自治) (表 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】 経営者・役員 正規社員・職員・従業員 非正規社員・職員・従業員 専業主婦(主夫)	1,735 62 177 252 263 367 563 156 428 287 199	オマス・太陽光・雪氷 など)の推進 16.3 ◎ 32.3 ○ 27.7 △ 24.6 20.9 ▼ 10.4 ▼ 9.2 △ 22.4 △ 24.1 18.5 11.6	クトがくいて生業	はまち り(集 機能 り) 15.9 20.9 22.6 21.3 15.0 10.7 21.8 19.6 14.3 17.6	ギー ・	15.7 22.6 22.6 25.4 19.0 12.5 9.4 14.1 20.8 21.3 16.6	 の保全や活用 14.9 ③ 30.6 16.9 △ 21.8 12.3 10.1 △ 23.1 △ 20.1 16.0 11.1 	適し 業・ジ ど)(た農 林業な り推進 11.2 21.0 14.1 13.5 11.4 10.4 8.7 14.1 12.9 10.8 10.6	分散 型の	生かす (自立) 自治 (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6		
【年齢】 18~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 【職業】 経営者・役員 正規社員・職員・従業員 非正規社員・職員・従業員	1,735 62 177 252 263 367 563 156 428 287	オマス・太陽光・雪氷 など)の推進 16.3 ③ 32.3 ○ 27.7 △ 24.6 ▼ 10.4 ▼ 9.2 △ 22.4 △ 24.1 18.5 11.6 ▼ 9.4	クトがくいて生業	はまち り(集 機能 り) 15.9 20.9 22.6 21.3 15.0 10.7 21.8 19.6 14.3	ギー ・	15.7 22.6 22.6 25.4 19.0 12.5 9.4 14.1 20.8 21.3	 の保全や活用 14.9 30.6 16.9 △ 21.8 18.6 12.3 10.1 △ 23.1 △ 20.1 16.0 	適し業・ジング	た農 林業な り推進 11.2 21.0 14.1 13.5 11.4 10.4 8.7 14.1 12.9 10.8	分散 型の	生かす (自立) (自治) (表 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表		